東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事
（設計変更分）

（意匠図）						（構造図）		
枚数	図番	図面名称	枚数	図番	図面名称	枚数	図番	図面名称
０１	Ａ－００	図面リスト	２６	Ａ－２１	階段詳細図（１）【改修後】	５０	Ｓ－０１	構造特記仕様書
０２	特－０１	特記仕様書（１）	２７	Ａ－２２	階段詳細図（２）【既存・改修後】	５１	Ｓ－０２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）
０３	特－０２	特記仕様書（２）	２８	Ａ－２３	展開図（１）【既存】	５２	Ｓ－０３	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）
０４	特－０３	特記仕様書（３）	２９	Ａ－２４	展開図（２）【既存】	５３	Ｓ－０４	補強伏図（１、２階）
０５	特－０４	特記仕様書（４）	３０	Ａ－２５	展開図（３）【既存】	５４	Ｓ－０５	補強軸組図
０６	Ａ－０１	案内図・配置図	３１	Ａ－２６	展開図（４）【既存】	５５	Ｓ－０６	補強詳細図-１（柱増し打ち補強）
０７	Ａ－０２	仕上表【既存・改修後】	３２	Ａ－２７	展開図（５）【既存】	５６	Ｓ－０７	補強詳細図-２（X5通り1階壁開口及び柱新設）
０８	Ａ－０３	１階・２階平面図【既存】	３３	Ａ－２８	展開図（１）【改修後】	５７	Ｓ－０８	補強詳細図-３（X5通り2階壁開口及び柱新設）
０９	Ａ－０４	３階・屋階屋平面図【既存】	３４	Ａ－２９	展開図（２）【改修後】			
１０	Ａ－０５	１階・２階平面図【改修後】	３５	Ａ－３０	展開図（３）【改修後】			
１１	Ａ－０６	３階・屋階平面図【改修後】	３６	Ａ－３１	展開図（４）【改修後】			
１２	Ａ－０７	立面図（１）【既存】	３７	Ａ－３２	展開図（５）【改修後】			
１３	Ａ－０８	立面図（２）・断面図【既存】	３８	Ａ－３３	建具キープラン【既存・改修後】			
１４	Ａ－０９	立面図（１）【改修後】	３９	Ａ－３４	建具表（１）【既存】			
１５	Ａ－１０	立面図（２）・断面図【改修後】	４０	Ａ－３５	建具表（２）【既存】			
１６	Ａ－１１	１階平面詳細図【既存】	４１	Ａ－３６	建具表（１）【改修後】			
１７	Ａ－１２	１階平面詳細図【改修後】	４２	Ａ－３７	建具表（２）【改修後】			
１８	Ａ－１３	２階平面詳細図【既存】	４３	Ａ－３８	天井伏図【既存】			
１９	Ａ－１４	２階平面詳細図【改修後】	４４	Ａ－３９	天井伏図【改修後】			
２０	Ａ－１５	３階平面詳細図【既存】	４５	Ａ－４０	雑詳細図（１）			
２１	Ａ－１６	３階平面詳細図【改修後】	４６	Ａ－４１	雑詳細図（２）			
２２	Ａ－１７	渡り廊下平面詳細図【既存・改修後】	４７	Ａ－４２	サイン詳細図			
２３	Ａ－１８	矩計図【既存】	４８	Ａ－４３	外構図【既存】			
２４	Ａ－１９	矩計図【改修後】	４９	Ａ－４４	外構図【改修後】			
２５	Ａ－２０	階段詳細図（１）【既存】						

株式会社 綜企画設計

承認	製図

特記

凡例：　設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
図面リスト

縮尺 -/--

図面区分 建築意匠

図面番号 A-00

建築改修工事特記仕様書

工　事　概　要

工事名称	東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）	
工事場所	東京都練馬区東大泉5-22-1　東京学芸大学大泉地区構内	
工事の種類・規模等	棟名称	附属大泉小学校特別教室南棟
	工種	内部改修、外部改修、耐震補強
	構造・階数	ＲＣ－３
	建築面積	３３９．００ ㎡
	延床面積	１０１５．００ ㎡
	改修建築面積	３３９．００ ㎡
	改修延床面積	１０１５．００ ㎡
完成期限	平成　26年　2月　28日（金曜日）	

一　般　特　記　事　項

総則

１．この工事の受注者は，

国立大学法人東京学芸大学発注工事請負等契約要項

別記第１号の工事請負基準，現場説明書，特記仕様書４枚，図面５２枚，

公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成２５年版），

文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（平成２５年版）及び

工事記録写真撮影要領に基づき工事を施工する。

２．特記仕様書の適用方法

（１）═══ で抹消した章及び項目の当該特記事項は，すべて適用しない。

・印で始まる事項及び表中の・印の事項は，○印の付した事項のみ適用する。

（２）表中の数字，文字又は記号を記入する事項は，記入してある事項のみ適用する。

（３）

（４）特記された材料，製造所，製品名，施工業者等の取扱いは，特記されたもの

又は、同等以上のものとする。

ただし，同等以上のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。

（５）左欄の〈 〉，《 》内の数値は，下記の各該当番号を示す。

〈 〉－公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成２５年版）

《 》－文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（平成２５年版）

建築基準法に基づき定められた区分等

建築基準法に基づき定められた区分等

地表面粗度区分　　・Ⅰ　⊙Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ

積　雪　区　分　　建告示第１４５５号　別表(24)

風　　速　　Ｖｏ　＝　34　ｍ／ｓ

１章　一　般　共　通　事　項

＜１．３．３＞
＜１．３．４＞
電気保安技術者
工事用電力設備の保安責任者

この工事現場には、下記いずれかの電気保安技術者（Ａ）及び，
工事用電力設備の保安責任者（Ｂ）を選任する

	（Ａ）	（Ｂ）
１　電気事業法及びその他関係法令による	／	○
２　第３種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	
３　１級電気工事工事施工管理技士以上の資格を有する者	○	
４　高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において，電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第７条第１項各号の科目を修めて卒業した者	○	／
５　旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○	
６　公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○	
７　第１種電気工事士の資格を有する者	○	
８　２級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	○	
９　第２種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	○	
１０　短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○	／

＜１．３．５＞
施工条件

この工事現場では，次の施工条件による。

○　工事用地は現場説明書によるものとし、構内の事故防止等に十分注意する。
○　障害物の撤去又は移設をする時には、監督職員の指示による。

＜１．３．８＞
発生材の処理等

引渡しを要するもの

特別管理産業廃棄物

現場において再利用を図るもの

再資源化を図るもの

関係法令に従い適切に処分するもの
　アスベスト成形板（ビニル床タイル、フレキシブルボード）

＜１．３．１１＞
施工中の環境保全等

本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規程」平成９年７月３１日　建設省告示第１５３６号　最終改正　平成１３年４月９日　国土交通省告示第４８７号　に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。

低騒音型低振動型建設機械の使用

ただしこれにより難い場合は，監督職員と協議の上，必要書類を提出するものとする。
低騒音型建設機械を使用する場合，現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い，監督職員に提出するものとする。

排出ガス対策型建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は，「排出ガス対策型建設機械指定要領」平成３年１０月８日　建設省経機発第２４９号　最終改正　平成１４年４月１日国総施第２２５号　に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は，平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」，又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業，あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで，排出ガス対策型機械と同等と見なす。
ただし，これにより難い場合は，監督職員と協議するものとする。
排出ガス対策型建設機械，又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合，現場代理人は，施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い，監督職員に提出するものとする。

ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両

種　類	備　考
バックホウ	ディーゼルエンジン
トラクタショベル（車輪式）	（出力７．５ｋＷ以上，
ブルドーザ	２６０ｋＷ以下）
発動電動機（可搬式，溶接兼用機を含む）	を搭載したものに限る。
空気圧縮機（可搬式）	
油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの）	
ローラ類（ロードローラ，タイヤローラ，振動ローラ）	
ホイールクレーン	

① 受注者は本工事現場で使用し，又は使用される関係車両（以下本工事関係車両）が，当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例（以下「排出ガス規制条例」）の適用を受ける場合は，これに適合した車両を使用しなければならない。
② 受注者は，本工事の施工に先立ち，本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について，排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しければならない。
③ 受注者は，本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には，車検証のコピーを保管し，本工事関係車両を把握しなければならない。
④ 受注者は，取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には，直ちに監督職員に報告しなければならない。
⑤ 受注者は，資機材の搬出入等において，資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。

＜１．４．２＞
~~**材料の品質等**~~

再利用を図るものは，次による。

＜１．４．４＞
~~**材料の検査等**~~

材　料　名	備　考

＜１．６．２＞
~~**技能工**~~

工　種	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工
コンクリート工事	・左　官　・型枠施工
鉄骨工事	・と　び
ブロック・ＡＬＣパネル工事	・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
ＰＣカーテンウォール工事	・カーテンウォール施工
防水工事	・防水施工
石　工　事	・石材施工
タイル工事	・タイル張り
木　工　事	・建築大工
屋根・とい工事	・建築板金　・スレート施工
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地）
左官工事	・左　官
建具工事	・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗　装
内装工事	・内装仕上げ施工　・表装
植栽工事	・造　園

＜１．６．４＞
一工程の施工の確認及び報告

施工の確認及び報告を行う工程	備　考
配筋検査	

＜１．６．５＞
施工の検査等

次について検査を行う。

・せき板の取外しが完了した段階

＜１．６．７＞
施工の立会い等

標準仕様書に定めがあるもの以外で，次に示す工事段階及び事項については，監督職員の立会いを受ける。

・基準位置及び基準地盤高さの設定時
・平板載荷試験、位置設定時
・く体コンクリートの試料採取時及び各種試験時
・鉄骨建入れ検査及び高力ボルト締付け検査時
・鉄筋の圧接試験片採取時，超音波探傷試験及び簡易引張試験時

＜１．６．９＞
化学物質の濃度測定

ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

工事の施工完了後、引渡をする前に、下記の測定室等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。

測定室等

棟名称	階	室名	採取本数
附属大泉小学校特別教室南棟	1	交流ルーム	1
	2	第2理科室	1
	3	オープンスペース	1

※上記の室について、それぞれ１検体につき２回採取を行い測定する。

測定物質、測定方法

物質	指針値	測　定　方　法
ホルムアルデヒド	100μg/m3 (0.08ppm)以下	⊙ ｼﾞﾆﾄﾛﾌｪﾆﾙﾋﾄﾞﾗｼﾞﾝ誘導体固相吸着／溶媒抽出法で採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。 ・ その他（　　）
トルエン	260μg/m3 (0.07ppm)以下	⊙ 次のうち何れかの測定方法とする。 固相吸着/溶媒抽出法で採取し、ガスクロマトグラフー質量分析法によって行う。 固相吸着/加熱脱着法で採取し、ガスクロマトグラフー質量分析法によって行う。 容器採取法で採取し、ガスクロマトグラフー質量分析法によって行う。
キシレン	870μg/m3 (0.20ppm)以下	
エチルベンゼン	3800μg/m3 (0.88ppm)以下	
スチレン	220μg/m3 (0.05ppm)以下	
		・ その他（　　）

資料採取方法

資料採取は室内及び外気の各１ヶ所を２回ずつとし、対象室内を３０分換気した後に対象室内を５時間以上密閉し、その後概ね３０分間採取の濃度（μｇ／ｍ３）で表す。
採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後２時～３時頃に設定するのが望ましい。
室外についても室内と　同様の条件で平行して採取する。
資料採取は、部屋の中央付近で、少なくとも壁から１．０ｍ以上離した高さ１．２ｍ～１．５ｍの位置を資料採取位置として設定する。
外気の資料採取は外壁及び空調排気口から２ｍ～５ｍ離した室内の測定高さと同等の高さの所を資料採取位置として設定する。

測定結果が上回った場合の措置

測定結果が厚生労働省の定める指針値を上回った場合は、監督職員と協議する。

＜１．８．３＞
保全に関する資料

保全に関する資料　　提出部数　１部

~~官公署提出書類の写し~~

建築物の保守、管理に関する資料、説明書

主要材料、機器類の一覧表（製造所、連絡先）

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：　設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長 / 副課長 / 係長 / 主任

工事名称：東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）
図面内容：特記仕様書（１）
縮尺：A1：－／－　A3：－／－
図面区分：建築意匠
図面番号：特-01

２章　仮設工事

＜２．２．４＞
足場その他

足場を設ける場合は、手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式とする。また、併せて、足場の外側及び内側（躯体側）の両方に手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置することとし、幅木はメッシュシート、防音シート及び防網等の有無に関わらず設置すること。

＜２．３．２＞
仮設間仕切り

現場説明書による

仮設計画

本工事改修範囲における仮設計画は、第三者への安全確保を最優先として十分検討を行い監督職員と協議のうえ施工する。

３章　防水改修工事

＜３．１．４＞
改修工法の種類及び工程

防水改修工法の種類　　Ｓ３Ｓ１　　工法

シーリング改修工法の種類　シーリング再充填　工法

＜３．２．５＞
ルーフドレン回りの処理

二重ドレン　　⊙設ける

＜３．２．６＞
既存下地の補修及び処置

既存シート防水は立上りは撤去、平部は既存のまま

~~＜３．３．３＞~~
~~種別及び工程~~

アスファルト防水層の種別

種　別	施　工　箇　所

~~＜３．４．３＞~~
~~種別及び工程~~

改質アスファルトシート防水層の種別

種　別	施　工　箇　所

＜３．５．３＞
種別及び工程

合成高分子系ルーフィングシート防水層の種別

種　別	施　工　箇　所
ＳＩ－Ｍ２	屋根平場
ＳＩ－Ｆ２	屋根立上り

＜３．６．３＞
種別及び工程

塗膜防水の防水層の種別

種　別	施　工　箇　所
Ｘ－２	屋根平場
Ｘ－２	屋根立上り

施工

脱気装置

種　類	材　質	設　置　数　量
⊙平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ＡＢＳ樹脂 ⊙ステンレス ・鋳鉄 ・	製造所の仕様による
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅 ・	個／　㎡

＜３．８．２＞
材料

といの材種
・配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管　・アルミ管

ルーフドレン

種　別	防水下地、寸法等
⊙陸屋根用（・縦型　⊙横型）	露出防水、改修用ドレインφ100
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

４章　外壁改修工事

＜４．２．２＞
工法別使用材料

ひび割れ部充てん材

種　別	種　類	寸　法	施工箇所
・シーリング材			
⊙可とう性エポキシ樹脂	－	10*10	外壁面

可とう性エポキシ樹脂　　製造所，製品名

欠損部充てん材及び、注入併用工法の注入材料

種　別	製造所，製品名	施工箇所
⊙エポキシ樹脂モルタル		外壁面
・ポリマーセメントモルタル		
種　別	製造所，製品名	施工箇所
⊙エポキシ樹脂		外壁面
・ポリマーセメントスラリ		

~~タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等~~

施工箇所 寸法（㎜）	形状	きじ	うわぐすり	役物	色	工法	製造所 製品名

試験張り　・行う　・行わない

見本焼き　・行う　・行わない

塗膜はく離材　　製造所，製品名

仕上塗材

種　類	呼び名	仕上げ形状	工法	備　考
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材 ・外装薄塗材Ｅ　Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸模様	・吹付け ・ローラー ・こて塗り	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸模様 ・ひき越し	・吹付け ・ローラー ・こて塗り	上塗材 ・適用する
⊙複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材ＣＥ ⊙防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＳ ・防水形複層塗材ＲＳ	・ゆず肌状 ・凸部処理 ⊙凹凸模様	◔吹付け ・ローラー	耐候性 ・耐候形３種 上塗材種類 ・水形アクリル 増塗材 ・適用する
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ ・可とう形改修塗材ＲＥ ・可とう形改修塗材ＣＥ	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状	・吹付け ・ローラー	

＜４．３．４＞
~~樹脂注入工法~~

ひび割れ部の注入状況の検査方法

・コア抜取り　（抜取り個数　　個　コア抜取り部補修方法　　）

＜４．４．４＞
浮き部改修

一般事項

アンカーピンニングの工法種別

・単独工法　⊙注入併用工法　・単独工法（注入口付）　・注入併用工法（注入口付）

５章　建具改修工事

＜５．１．３＞
改修工法

種別　⊙かぶせ工法　・撤去工法（・はつりによる撤去　・油圧工具等による撤去）

＜５．２．２＞
性能及び構造

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能等級	⊙Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種
耐風圧性	⊙Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６
気密性	⊙Ａ－３		・Ａ－４
水密性	⊙Ｗ－４		・Ｗ－５
枠の見込み寸法（㎜）	⊙７０　・１００		・１００

＜５．２．４＞
形状及び仕上げ

表面処理

建　具	種　　別
外部に面する建具	◔Ｂ－１種
	・Ｂ－２種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
屋内の建具	・Ｃ－１種
	・Ｃ－２種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

＜５．２．３＞
材料

防虫網

・合成樹脂製　⊙ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス（ＳＵＳ３１６）製

線径（㎜）　　・０．２５以上

網目（メッシュ）　⊙２０

※＜参考メーカー＞
学校間仕切り：小松ウォール多摩㈱ マイティ-Lux-S80 同等品
トイレブース：小松ウォール多摩㈱ ＴＢ－ＧＰ 同等品

＜５．３．２＞
性能及び構造

外部に面する鋼製建具の耐風圧性
・Ｓ-４

＜５．５．４＞
~~形状及び仕上げ~~

表面仕上げ

・ＨＬ仕上げ

＜５．５．５＞
工法

曲げ加工

⊙普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり）

＜５．６．２＞
材質形状寸法

建具用金物　　マスターキー合わせ

金物種類	バックセット（㎜）	製作所
・モノロック		
・本締り付モノロック		
◔シリンダー箱錠		（株）美和ロック
◔シリンダ本締り錠		（株）美和ロック
・空錠		
⊙押棒，押板		（株）ユニオン

＜５．１２．２＞
材料

強化ガラス

種類	材料板ガラス
フロート強化ガラス	⊙フロートガラス　・熱線吸収フロートガラス ⊙磨き板ガラス　・熱線吸収磨き板ガラス
板強化ガラス	

＜５．１２．３＞
ガラス溝の寸法形状等

ガラス溝の寸法，形状等

種類	ガラス厚（㎜）	面ｸﾘｱﾗﾝｽ	ｴｯｼﾞｸﾘｱﾗﾝｽ	掛り代
◔強化ガラス ・倍強度ガラス	4.0			

６章　内装改修工事

＜６．２．２＞
~~工法~~

合成樹脂塗床材の除去
・　機械的除去工法　　・　目荒し工法

＜６．５．２＞
材料

代用樹種の使用　　・　禁止する

~~構造用集成材~~

品名	集成材	単板積層材
強度等級等		
材面の品質	２種	
樹種名		
接着性能		

造作用集成材

品名		
施工箇所	額縁	下足入れ
樹種名	なら	タモ
寸法	図示	図示
見付け材面の品質	１等	１等
防虫処理		

~~構成板~~

種類	規格，区分等	厚さ（㎜）
・ＭＤＦ		・３・７・９・１２・１５ ・１８・２１・２４・３０

~~パーティクルボード~~

種類	規格，区分等	厚さ（㎜）
・単板張り	・無研磨板	・１０・１２・１５・１８ ・２０・３０・３５・４０
・化粧	・単板オーバーレイ ・プラスッチックオーバーレイ ・塗装	・（難燃）

防腐処理　・行う　適用範囲　　床木下地:際根太

防ぎ処理　・行う　適用範囲　　防蟻処理は，非有機リン系とする。

防腐・防蟻処理の方法

工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。

ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて防腐・防蟻を塗布することとする。

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：　設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
特記仕様書（２）

縮尺
A1：－/－
A3：－/－

図面区分　建築意匠
図面番号　特-02

＜６．８．２＞
材料

種類	性能	厚さ（mm）	柄	施工箇所
・発泡層のあるもの ◔発泡層のないもの	・抗菌 ・防滑性	・6.5 ◔2.5 ・2.5	・木目 ○無地 ・無地	教材室・第2理科室・男子、女子便所・廊下

＜６．９．２＞
材料

~~織じゅうたん~~

種別	パイル形状	帯電性	製造所，製品名
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・カットパイル ・ループパイル ・カットループ併用	・人体帯電圧 ３ＫＶ以下	

~~タフテッドカーペット~~

パイル形状	パイル厚さ	帯電性	工法	製造所，製品名
・カットパイル ・ループパイル		・人体帯電圧 ３ＫＶ以下		

抗菌加工の有無　・有　・無

~~ニードルパンチカーペット~~

厚さ（mm）	帯電性	製造所，製品名
	・人体帯電圧３ＫＶ以下	

抗菌加工の有無　・有　・無

タイルカーペット

種別	パイル形状	総厚さ（mm）	電気抵抗（Ω）	製造所，製品名
○1種 ・　種	・カットパイル ◔ループパイル	◔６．５	◔適用しない	

※タイルカーペットは帯電防止とする

＜６．１０．２＞
~~材料~~

弾性ウレタン塗床

・平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ

エポキシ樹脂塗床

・薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ　・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

＜６．１１．２＞
材料

フローリング

単層	樹種	厚さ（mm）	大きさ	工法
・フローリングボード ・フローリングブロック	・なら ・かば	・１５ ・１８	・３０３角	・モルタル埋込 ・釘留め ・接着

複合	樹種	種別	防湿処理	工法
◔複合１種フローリング ・複合１種フローリング ・複合１種フローリング	◔なら	○Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・行う	・モルタル埋込 ・釘留め ⊙接着

※ クリア塗装品とする

＜６．１３．２＞
材料

せっこうボード，その他ボード及び合板張り

種別	規格，区分等	厚さ（mm）
◔せっこうボード（ＧＢ－Ｒ）		○９．５（準不燃） ○１２．５（不燃） ・１５．０（不燃）
◔シージングせっこうボード（ＧＢ－Ｓ）		○１２．５（準不燃） ・１２．５（不燃）
◔強化せっこうボード（ＧＢ－Ｆ）		◔２１．０（不燃）
◔強化せっこうボード（ＧＢ－Ｆ）		◔１２．５（不燃）
・不燃積層せっこうボード（ＧＢ－ＮＣ）	・模様なし ・トラバーチン	・９．５（準不燃）
◔化粧せっこうボード（ＧＢ－Ｄ）	◔トラバーチン ・木目模様	◔９．５（準不燃）
◔硬質せっこうボード（ＧＢ－Ｒ-Ｈ）		◔９．５（不燃）
・ロックウール吸音ボード（ＲＷ－Ｂ）	１号	・２５
・グラスウール吸音ボード（ＧＷ－Ｂ）	２号　３２Ｋ	・５０ （ガラスクロス包）
◔ロックウール化粧吸音板（ＤＲ）	◔普通 ・立体模様	・９．０（不燃） ◔１２．０（不燃）
・けい酸カルシウム板（０．８ＦＫ）		・６．０
・天然木化粧合板	・なら　・しおじ	単板　・０．３未満 板　・４．２
・特殊加工化粧合板	・メラミン ・ポリエステル	・４．０
◔難燃合板		◔５．５
・木毛セメント板	・硬質木毛セメント板 ・普通木毛セメント板	・１５　・２０ ・２５　・３０
・木片セメント板	・硬質木片セメント板 ・普通木片セメント板	・１２・１５・１８ ・２１・３０
・硬質繊維素地スタンダードボード	・未研磨板 ・研磨板	・２．５　・３．５ ・５　・７
・硬質繊維素地テーパードボード	・未研磨板 ・研磨板	
・内装用化粧ハードボード ・外装用化粧ハードボード		
・Ａ級インシュレイションボード	・素板 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材	・９　・１２ ・１５　・１８
・ＭＤＦ	・木目	・６．０
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	・１０　・１２ ・１５　・１８
・化粧パーティクルボード	・単板オーバーレイ ・プラスッチックオーバーレイ ・塗装	・２０　・３０ ・３５　・４０ ・（難燃）

＜６．１４．２＞
~~材料~~

壁紙張り

施工箇所	防火性能の級別	製造所，製品名
・図示	・１級　・２級	

壁紙及び接着剤は，ホルムアルデヒド放散量の少ないものとする。

タイルの形状，寸法，きじの質及び工法等

施工箇所 寸法（mm）	形状	きじ	うわぐすり	役物	色	工法	製造所 製品名

試験張り　・行う　・行わない

見本焼き　・行う　・行わない

７章　塗装改修工事

＜７．１．３＞
材料

塗料は，ホルマリン不検出のものとし，有機溶剤の含有の少ないものとする。

防火材料の指定

⊙屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする。

・次の箇所は防火材料とする。

《１．３．３》
~~材料及び工法~~

ライニング用材料

製造所・製品名・工法

《１．４．３》
~~材料及び工法~~

塗り替え用塗料

製造所・製品名・塗工程種別

８章　耐震改修工事

コンクリートの品質

摘要 ＼ 種類	普通コンクリート		
適用箇所	柱	土間スラブ	
設計基準強度（N／mm²）	27	21	
スランプ（cm）	18	18	
気乾単位容積重量（kg／m3）			

＜８．１．５＞
~~鉄骨製作工場~~

工場性能評価グレード＿＿＿＿以上の工場

＜８．２．１＞
鉄筋

種類の記号	径（mm）	適用箇所
⊙ＳＤ２９５Ａ	Ｄ１０～Ｄ１６	下記以外
⊙ＳＤ３４５	Ｄ１９～	柱の主筋
・		
・		
・		

＜８．２．２＞
~~溶接金網~~

網目の形状、寸法	鉄線の径

＜８．２．６＞
型枠の材料

合板（JAS規格による）１２mm

使用箇所	備考
柱	

製造所

＜８．２．７＞
~~鋼材~~

種別	材質	備考
・棒鋼		
・平鋼		
・形鋼（Ｈ型鋼）		
・形鋼（その他）		
・鋼板（中・厚）		
・鋼板（薄）		
・軽量形鋼		
・角形鋼管		

＜８．３．４＞
継手及び定着

部位	継手方法	径（mm）
柱、梁の主筋	⊙ガス圧接　・機械式継手	D19以上
その他	⊙重ね継手	D16以下

柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ　・40ｄ　・45ｄ
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ　・40ｄ　・45ｄ　・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋以外の定着長さ　・

＜８．３．９＞
ガス圧接

圧接完了後の試験
・超音波探傷試験　⊙引張試験

＜８．１６．２＞
~~耐火被覆材の種別及び性能~~

所要性能

所要性能	構造区分	適用箇所

＜８．１９．３＞
既存部分の処理

目荒し

部位	平均深さ（mm）	打継ぎ面に対する目荒し面積の割合（%）
柱、梁、壁	２～５mm	１５～３０%

＜８．１９．８＞
コンクリートの打ち込み

⊙　流し込み工法
・　圧入工法

＜８．２１．５＞
~~溶接金網巻き工法及び溶接フープ巻き工法~~

打込の工法の種類
・　流し込み工法
・　圧入工法

９章　環境配慮改修工事

＜９．１．１＞
一般事項

アスベスト含有建材の処理の工事

工法種別	適用箇所
⊙除去処理	床：ビニルタイル　便所天井：石綿ｽﾚｰﾄﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板 椅子収納棚天井裏：岩綿吸音板
・封じ込め処理	
・囲い込み処理	

施工調査

目視又は設計図書による施工調査は、次の事項について行い、調査結果をとりまとめ図面等により記録し、監督職員に提出する。

１．吹付けアスベスト使用部位の確認
２．吹付けアスベストの厚さ等の確認
３．吹付けアスベスト使用数量の確認
４．施工範囲等の確認

~~分析によるアスベスト含有の調査~~　・行う

調査対象室＿＿＿＿

調査対象建材＿＿＿＿

分析によるアスベスト含有の調査は、「改訂　既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説２００６（日本建築センター　Ｈ１８．１０）」（以下「センター指針」という。）の「３．３．３資料採取による現地調査」に基づき行う。ただし、アスベスト含有の分析方法は、ＪＩＳ　Ａ　１４８４「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。それ以外の分析方法とする場合は、監督職員と協議する。

株式会社 綜企画設計	承認	製図

特記

凡例：　設計変更分

東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
特記仕様書（３）

縮尺
A1：-/--
A3：-/--

図面区分　建築意匠
図面番号　特-03

既存外部仕上表

部位	仕上	撤去内容
屋上	ｺﾝｸﾘｰﾄ直押え 露出ｼｰﾄ防水仕上（水勾配1/100）	既存のまま
ルーフドレイン	鋳鉄製横引型ドレイン（呼称100）	ストレーナーのみ撤去
笠木	ｺﾝｸﾘｰﾄ直押え	既存のまま
縦樋	硬質塩化ビニル管 呼称100 ＯＰ塗	撤去
飾り桝	硬質塩化ビニル製 ＯＰ塗	撤去
外壁・柱型	ｺﾝｸﾘｰﾄ直仕上げ下地の上 リシン吹付	高圧洗浄
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しのまま （G.L+600）	高圧洗浄

部位	仕上	撤去内容
建具	アルミ製建具・スチール製建具	既存のまま 一部撤去
外階段	鉄骨階段 （一部鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造）	踏面撤去（(1)のみ）
	床：モルタル金こて仕上	既存のまま
	梁型・スラブ裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ直下地の上リシン吹付	高圧洗浄 一部撤去
庇	天端：モルタル金こて仕上	高圧洗浄
	鼻：モルタル金こて仕上げ	高圧洗浄
	下端：ｺﾝｸﾘｰﾄ直下地の上リシン吹付	高圧洗浄
犬走り	緑石ブロック 150×150×600 破石敷ｔ120	既存のまま

既存内部仕上表

階	室名	F.L	天井高	床 下地	床 仕上げ	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 高さ	幅木 改修内容	壁・腰壁 下地	壁・腰壁 仕上げ	壁・腰壁 改修内容	梁型・天井 下地	梁型・天井 仕上げ	梁型・天井 廻り縁	梁型・天井 改修内容	備考
1	教授学習方法開発実験室	±0	3,000	C	ＶＴt2.0	A	C	ＷＢ＋ＳＯＰ	100	A	ＬＧＳ Ｃ	シナ合板t4.0(ロックルールt25充填) 寒冷砂ウラ打ち）ＳＯＰ 一部 モルタル金こて仕上 ＥＰ	Ｃ Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
	制御分析室	±0 ～ +300	2,700 (一部3,000)	C	ＶＴt2.0	A	C	ＷＢ＋ＳＯＰ	100	A	ＬＧＳ Ｃ	シナ合板t4.0(ロックルールt25充填) 寒冷砂ウラ打ち）ＳＯＰ 一部 モルタル金こて仕上 ＥＰ	Ｃ Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
	マイクロティーチング室	±0	3,000	C	ＴＣt6.5	A	C	ＷＢ＋ＳＯＰ	100	A	ＬＧＳ Ｃ	シナ合板t4.0(ロックルールt25充填) 寒冷砂ウラ打ち）ＳＯＰ 一部 モルタル金こて仕上 ＥＰ	Ｃ Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
	空調機械室	±0	3,300 2,200	C	ＲＣ	F					Ｃ	ＲＣ	Ｆ	Ｃ	木毛セメント板打込t15	―	Ｆ	
2	国際文化センター	±0	3,000	C	ＶＴt2.0	A	C	ＶＢ	100	A	Ｃ	モルタル金こて仕上げ ＥＰ	Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
	児童学習センター	±0	3,000	C	ＶＴt2.0	A	C	ＶＢ	100	A	Ｃ	モルタル金こて仕上げ ＥＰ	Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
	低学年合科学習室	±0	3,000	C	ＶＴt2.0	A	C	ＶＢ	100	A	Ｃ	モルタル金こて仕上げ ＥＰ	Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	
3	多目的オープンスペース	±0	3,000 3,450	C	ＴＣt6.5	A	C	ＷＢ ＳＯＰ	100	A	ＬＧＳ Ｃ	シナ合板t4.0(ロックルールt25充填) 寒冷砂ウラ打ち）ＳＯＰ 一部 モルタル金こて仕上 ＥＰ	Ｃ Ｅ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	スクリーン幕撤去 （L6000）
	空調機械室	±0		C	ＲＣ	F					Ｃ	ＲＣ	Ｆ	Ｃ	木毛セメント板打込t15		Ｆ	
共通	男子・女子便所	±0	2,400	C	ＶＳt2.0	A					Ｃ	モルタル金こて仕上 ＥＰ	Ｅ	ＬＧＳ	石綿スレートフレキシブル板t4.0 ＥＰ （貝ろクシ張り）	塩ビ	Ｃ	
	廊下	±0	3,300 2,200	C	ＶＴt2.0	A	C	ＶＢ	100	A	Ｃ	ＲＣ ＥＰ	Ｆ	ＬＧＳ	ＧＢ－Ｄｔ9.0	塩ビ	Ｃ	ブラインド撤去 （W1500×H2300 34ヶ所） 木製網戸撤去 （W750×H600 28ヶ所）

改修後外部仕上表

部位	仕上	改修内容
屋上	合成高分子系ルーフィン具シート防水工法（Ｓ３Ｓ Ｉ工法）	既存シートのうえ新設
ルーフドレイン	改修用ドレイン	新設
笠木	アルミ製笠木	新設
縦樋	塩ビ製φ100ﾀﾃﾖｲ	新設
飾り桝	塩ビ製	新設
外壁・柱型	防水型複層塗材Ｅ	新設
巾木	防水型複層塗材Ｅ	新設

部位	仕上	改修内容
建具	アルミ製建具・スチール製建具	一部新設
外階段	鉄骨階段 （一部鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造）	下地調整の上 ＳＯＰ塗 踏面新設（(1)のみ）
	床：モルタル金こて仕上	既存のまま
	梁型・スラブ裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ直下地の上リシン吹付	下地調整の上 防水型複層塗材Ｅ 一部庇新設
庇	天端：モルタル金こて仕上	下地調整の上 ウレタン塗膜防水(X-2)
	鼻：モルタル金こて仕上げ	下地調整の上 防水型複層塗材Ｅ
	下端：ｺﾝｸﾘｰﾄ直下地の上リシン吹付	下地調整の上 防水型複層塗材Ｅ
犬走り	緑石ブロック 150×150×600 破石敷ｔ120	既存のまま

改修後内部仕上表

階	室名	F.L	天井高	床 下地	床 仕上げ	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 高さ	幅木 改修内容	壁・柱 下地	壁・柱 仕上げ	壁・柱 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻り縁	天井 改修内容	備考
1	交流ルーム	±0	2,700 3,000	LV t5.0	複合フローリングt13	c	C	ＶＢ	100	a	C	GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP	a	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	スライダー黒板（暗線入り） （W3600×H1200） 下足入れ（２ヶ所）
											C	（柱型）ＥＰ	e					
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ＜114条＞	c					
											LGS	GB－Rt12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ<114条以外>	c					
	教材室	±0	2,700 3,000	LV t7.5	ＶSt2.5	c	C	ＶＢ	100	a	C	GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP	a	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	
											C	（一部壁、柱型）ＥＰ	e					
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ＜114条＞	c					
											LGS	GB－Rt12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ<114条以外>	c					
2	第２理科室 倉庫（１）	±0	2,700 3,000	LV t7.5	ＶSt2.5	c	C	ＶＢ	100	a	C	GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP	a	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	スライダー黒板（暗線入り） （W4500×H1200） 掲示板 （W1800×H900）
											C	（一部壁、柱型）ＥＰ	e					
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ＜114条＞	c					
											LGS	GB－Rt12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ<114条以外>	c					
	コンピュータ室	±0	2,700 3,000	LV t13.5	ＴCt6.5 （帯電防止）	c	C	ＶＢ	100	a	C	GB-Rt12.5+GB-R-Ht9.5 EP	a	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	ホワイトボード（曲面） （W3600×H1200）
											C	（柱型）ＥＰ	e					
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ＜114条＞	c					
											LGS	GB－Rt12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ<114条以外>	c					
3	オープンスペース 倉庫（２）	±0	3,000 2,800	LV t8.0	構造用合板ｔ12 +複合フローリングｔ13	c	C	ＶＢ	100	a	LGS	有孔合板ｔ5.5ＥＰ ロックウールｔ25充填 寒冷砂ウラ打ち ＜外壁面＞	c	LGS	GB－Rｔ9.5 ＋DRｔ12.0	塩ビ	c	下足入れ（２ヶ所）
											C	ＥＰ＜柱型＞ ＜倉庫(2)の外壁面以外＞	e					
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ＜114条＞	c					
											LGS	GB－Rt12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ<外壁面以外、倉庫(2)の外壁面>	c					
共通	男子・女子便所	±0	2,400	LV t7.5	ＶSt2.5	c	C	ＳＵＳ製	60	a	C	ＥＰ	e	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	
											LGS	GB－S12.5 +化粧ケイカル板ｔ6.0	c					
	廊下	±0	2,700 2,800 3,000	LV t7.5	ＶSt2.5	c	C	ＶＢ	100	a	C	ＥＰ	e	LGS	GB－Dt9.5	塩ビ	c	
											LGS	GB－Ft12.5 +GB－R－Ht9.5ＥＰ	c					

共通事項

【耐火構造一覧】
- 外壁（耐力壁）：１時間耐火／鉄筋コンクリート造ｔ20 以上、鉄筋かぶり厚さ30以上
- 外壁（非耐力壁）：１時間耐火／鉄筋コンクリート造 ｔ70 以上、鉄筋かぶり厚さ20以上
- 外壁（非耐力壁）：３０分耐火／ＡＬＣｔ100
- 間仕切壁（耐力壁）：１時間耐火／鉄筋コンクリート造ｔ70 以上、鉄筋かぶり厚さ30以上
- 間仕切壁（非耐力壁）：１時間耐火／鉄筋コンクリート造ｔ70 以上、鉄筋かぶり厚さ20以上
- 柱：１時間耐火／鉄筋コンクリート造□２５０以上、鉄筋かぶり厚さ30以上
- 床：１時間耐火／鉄筋コンクリート造ｔ70以上、鉄筋かぶり厚さ20以上
- 梁：１時間耐火／鉄筋コンクリート造、鉄筋かぶり厚さ30以上
- 屋根：３０分耐火／鉄筋コンクリート造、鉄筋かぶり厚さ20以上
- 階段：３０分耐火／鉄筋コンクリート造

【防火上主要な間仕切り壁（施行令１１４条区画）】
- 間仕切壁（非耐力壁）：１時間耐火／鉄筋コンクリート造ｔ70 以上、鉄筋かぶり厚さ20以上
- 1時間耐火/軽量鉄骨壁：LGS+GB-F 12.5+GB-R-H 9.5(両面)

耐火構造認定番号：FP060NP-0199

（間仕切壁は梁下またはスラブ下まで設けるものとする。）

【延焼のおそれのある部分の外壁の開口部】
- 防火設備を設置。

略語凡例

略語	仕上げ材等	略語	仕上げ材等	略語	仕上げ材等
ＲＣ	コンクリート打放し	ＧＢ－Ｆ	強化せっこうボード	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り
ＣＢ	コンクリートブロック積み	ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質せっこうボード	ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗り
ＶＳ	ビニル床シート	ＧＢ－Ｓ	シージングせっこうボード	ＥＰ－Ｇ	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
ＶＴ	ビニル床タイル（半硬質）	ＧＢ－Ｐ	吸音あなあきせっこうボード	ＶＥ	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
ＴＣ	タイルカーペット	ＧＢ－Ｐ（Ｓ）	吸音化粧せっこうボード（スクエアート）	ＡＥ	アクリル樹脂エナメル塗り
ＶＴ（Ｅ）	帯電防止ビニル床タイル	ＦＫ	けい酸カルシウム板	ＦＥ	フタル酸樹脂エナメル塗り
ＶＢ	ビニル幅木	ＤＲ	ロックウール化粧吸音板（フラットタイプ）	ＣＬ	クリヤラッカー塗り
ＷＢ	木製幅木	ＤＲ（凹凸）	ロックウール化粧吸音板（凹凸タイプ）	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗り
ＶＣ	ビニルクロス張り	ＰＦ板	押出法ポリスチレンフォーム保温板		
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード	ＧＷ	グラスウール 24K		
ＧＢ－Ｄ	化粧せっこうボード（トラバーチン）				
ＧＢ－Ｄ（Ｓ）	化粧せっこうボード（スクエアート）				

下地の区分欄の略号

略語	仕上げ材等
Ｃ	コンクリート下地
ＣＢ	コンクリートブロック下地
ＡＬＣ	押出成形セメント板下地
ＬＧＳ	軽量鉄骨下地（特記以外は壁65型、天井19型）
Ｗ	木下地
Ｍ	モルタル下地
ＰＦ	ポリスチレンフォーム床下地板（床下地のみ）
ＯＡ	ＯＡフロア
ＬＶ	セルフレベリング

改修内容凡例

既存	Ａ：仕上げ撤去	改修	ａ：仕上げ新設
	Ｂ：図示の仕上げ撤去		ｂ：図示の仕上げ新設
	Ｃ：下地共撤去		ｃ：下地共新設
	Ｄ：図示の下地共撤去		ｄ：図示の下地共新設
	Ｅ：下地調整		ｅ：塗装の塗り替え
	Ｆ：既存のまま		ｆ：既存のまま

防火等認定材料表

略語	材料名	厚さ	認定番号
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード	9.5	QM-9828
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード	12.5	NM-8619
ＧＢ－Ｄ	化粧せっこうボード	9.5	QM-9824
ＧＢ－Ｄ（Ｓ）	化粧せっこうボード（スクエアート）	9.5	NM-0879
ＧＢ－Ｓ	シージングせっこうボード	9.5	QM-9826
ＧＢ－Ｆ	強化せっこうボード	9.5 12.5	NM-8615
ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質せっこうボード	9.5	NM-9645
ＧＢ－Ｐ	吸音あなあきせっこうボード	9.5	QM-9827
ＧＢ－Ｐ（Ｓ）	吸音化粧せっこうボード（スクエアート）	9.5	NM-0879
ＤＲ	ロックウール吸音板	9.0	NM-8599

凡例： 設計変更分

承認	製図	特記

株式会社 綜企画設計

東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

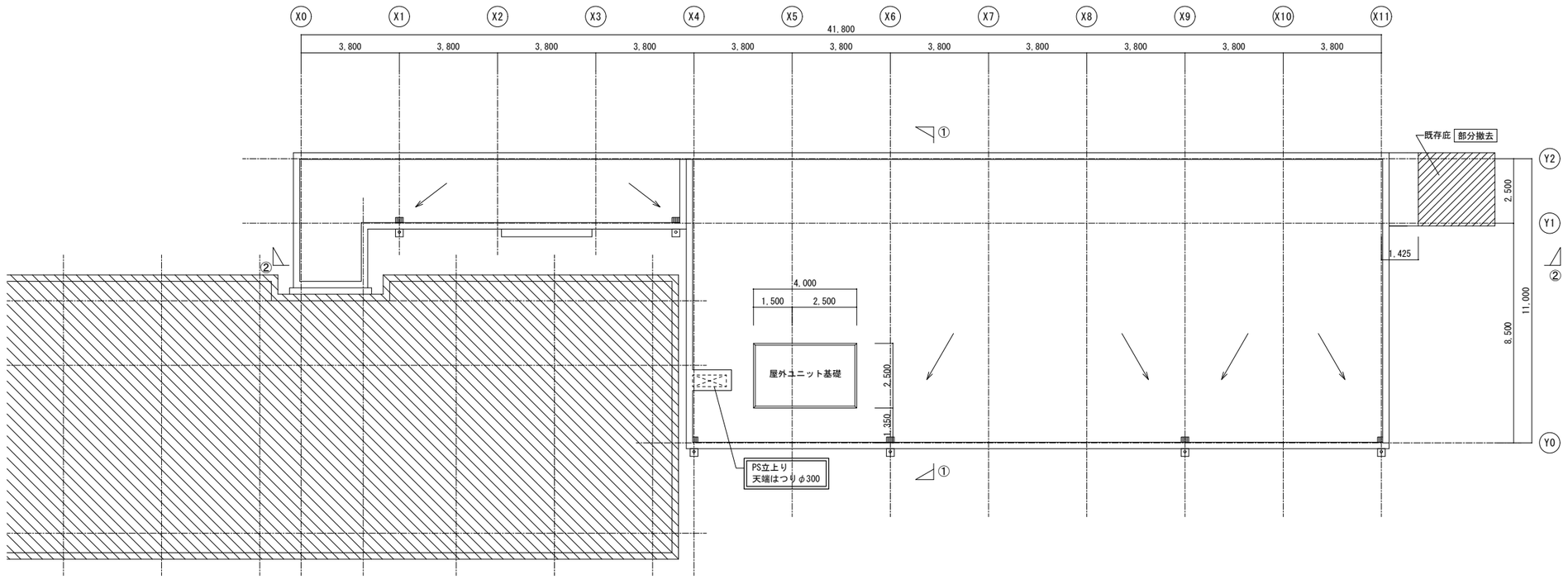
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
仕上表【既存・改修後】

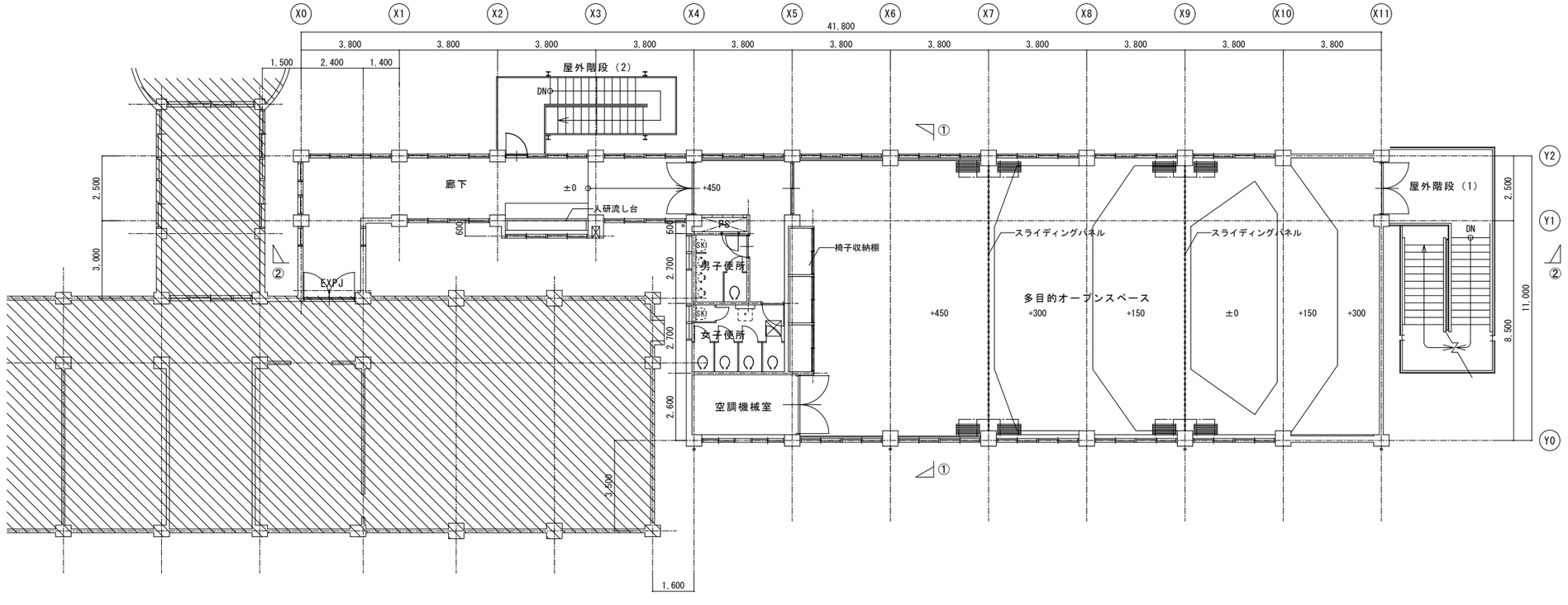
縮尺
A1：-/--
A3：-/--

図面区分 建築意匠

図面番号 A-02



屋階　平面図　1/100



3階　平面図　1/100

凡例

既存部分を示す

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

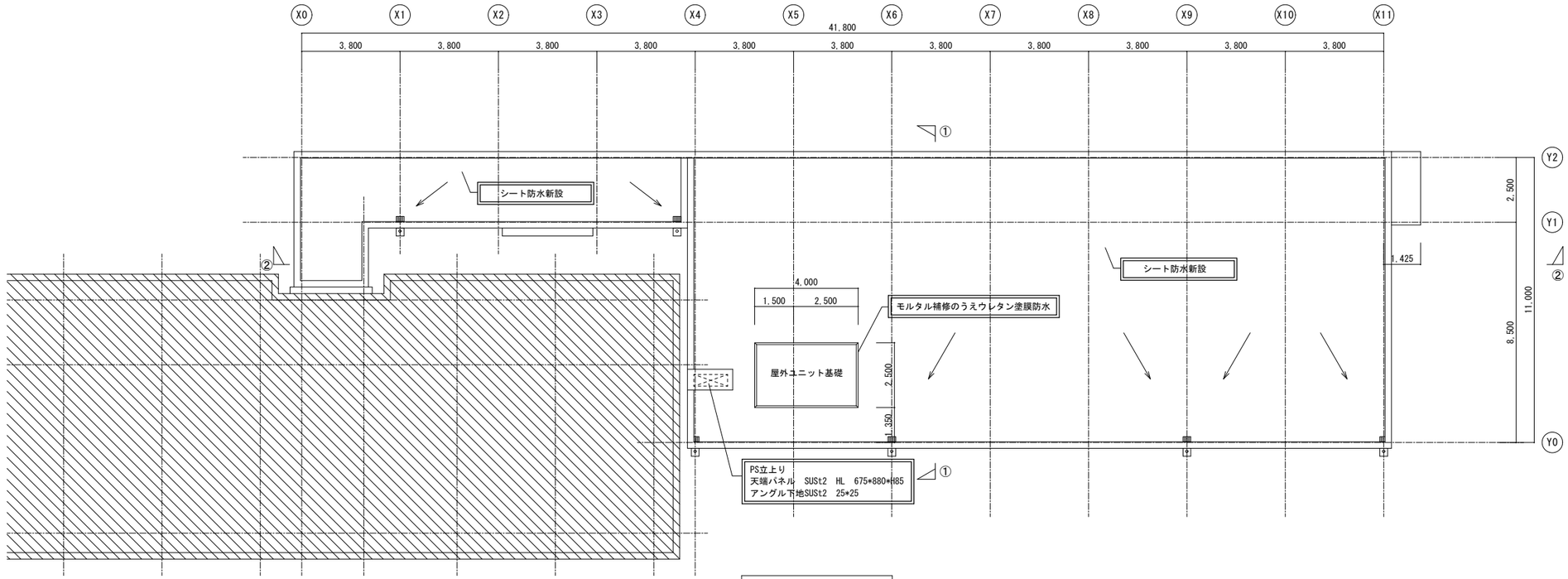
工事名称：東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容：3階・屋階平面図【既存】

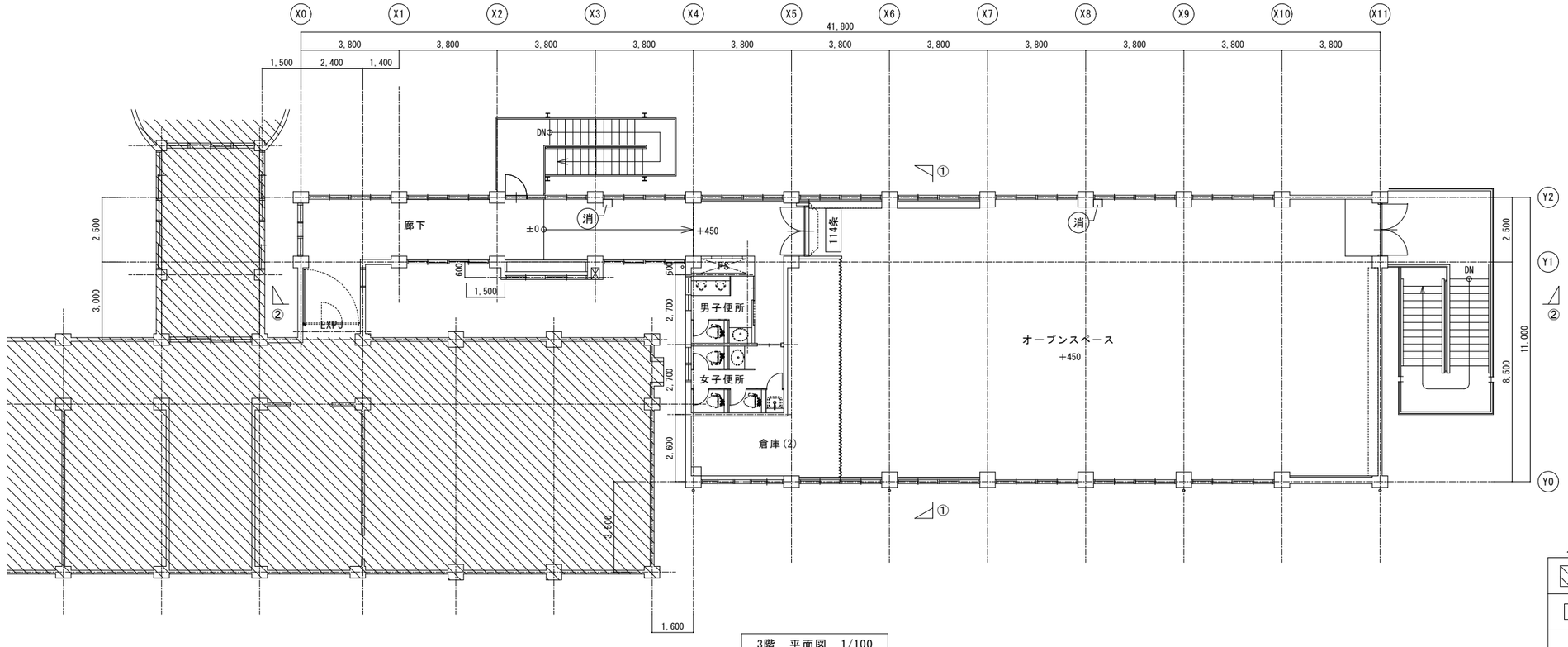
縮尺：A1：1/100　A3：1/200

図面区分：建築意匠

図面番号：A-04



屋階　平面図　1/100



3階　平面図　1/100

凡例

	既存部分を示す
114条	防火上主要な間仕切（114条区画）
消	消火器BOX　新設

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：　設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

工事名称：東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容：3階・屋階平面図【改修後】

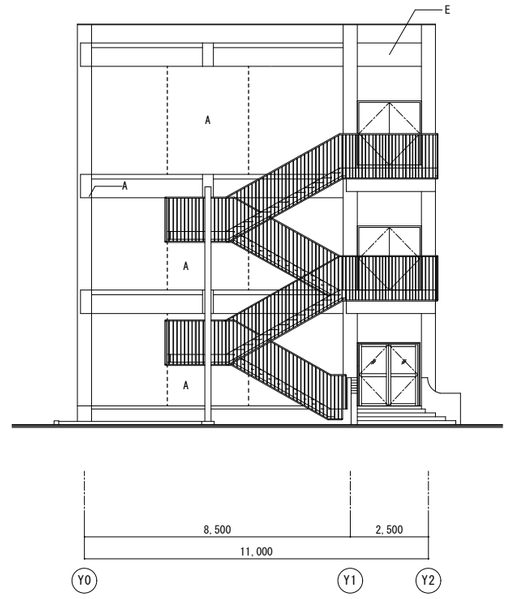
縮尺：A1：1/100　A3：1/200

図面区分：建築意匠

図面番号：A-06



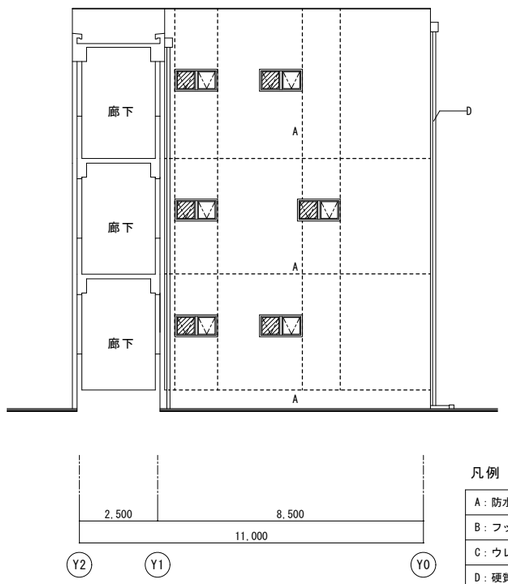
南　立面図　1/100



東　立面図　1/100



北　立面図　1/100



西　立面図　1/100

凡例

仕上	改修内容
A：防水型複層塗材Ｅ	下地調整の上新設
B：フッ素樹脂鋼板パネル t1.6	新設
C：ウレタン塗膜防水	下地調整の上新設
D：硬質塩化ビニール縦樋100φカラー	新設
E：コンクリート庇	モルタル補修の上ウレタン塗膜防水
F：コンクリート庇撤去跡	モルタル補修の上防水型複層塗材Ｅ
▨：アルミパネル	新設
----：打ち継ぎ目地20*10	取替

株式会社 綜企画設計

承認	製図

特記

凡例：　設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

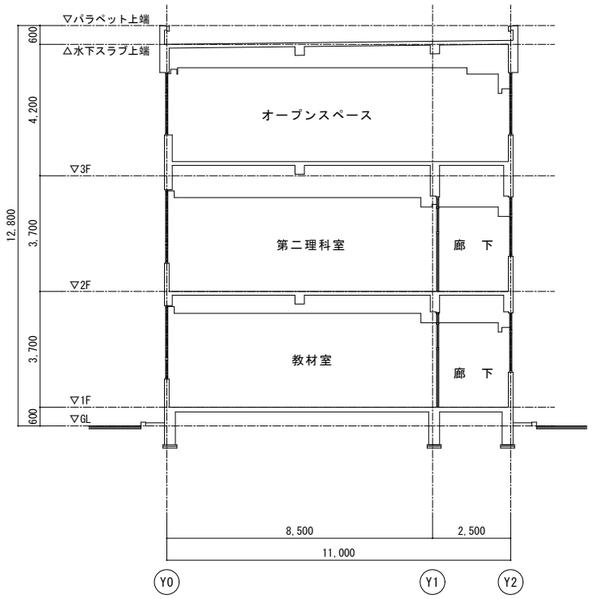
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
立面図【改修後】

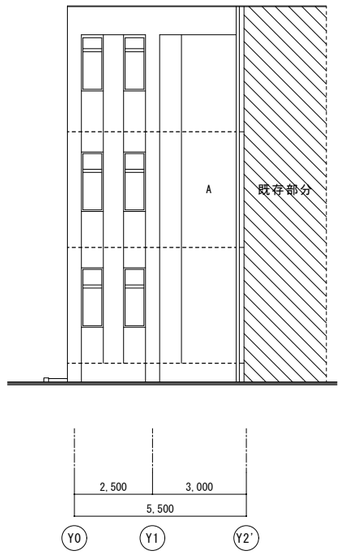
縮尺 A1：1/100

図面区分 建築意匠

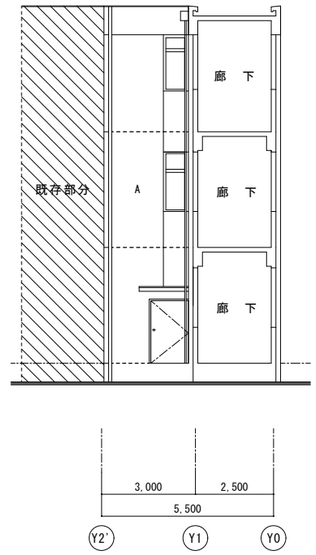
図面番号 A-09



①－①断面図　1/100



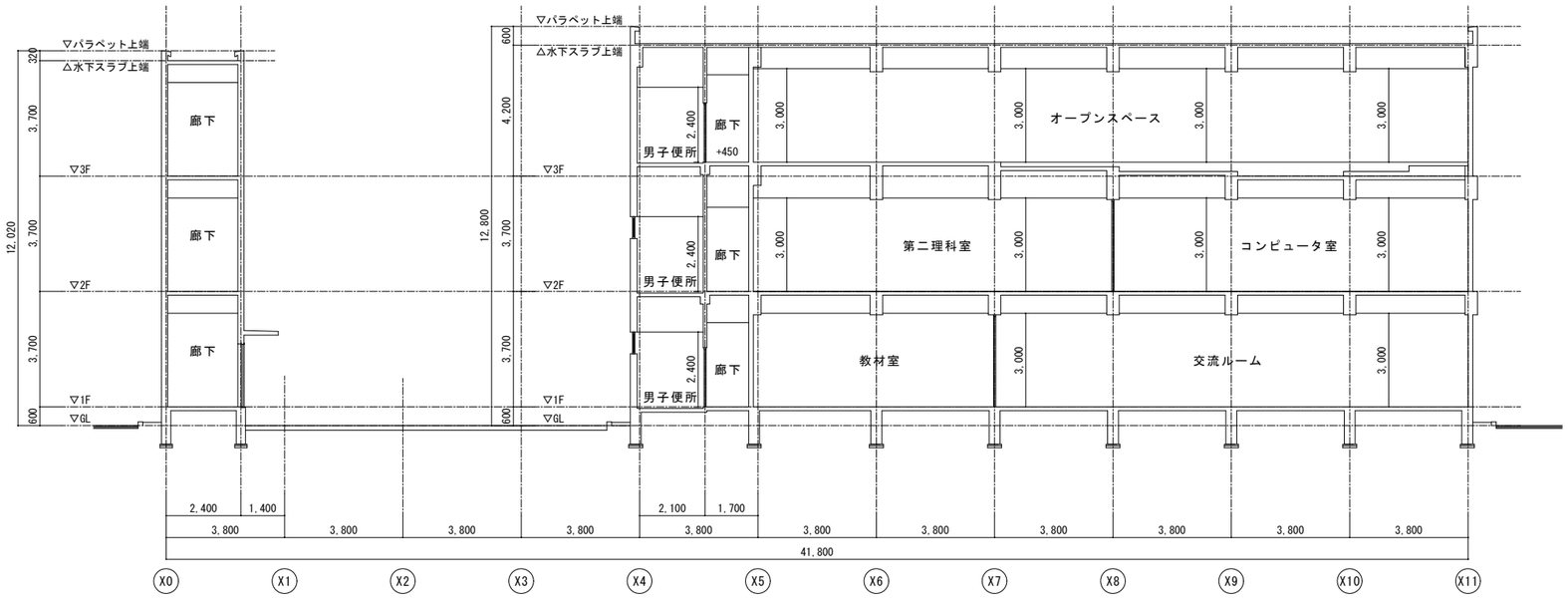
西　立面図　1/100



東　立面図　1/100

凡例

仕上	改修内容
A：防水型複層塗材Ｅ	下地調整の上新設
---------- ：打ち継ぎ目地20*10	取替



②－②断面図　1/100

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

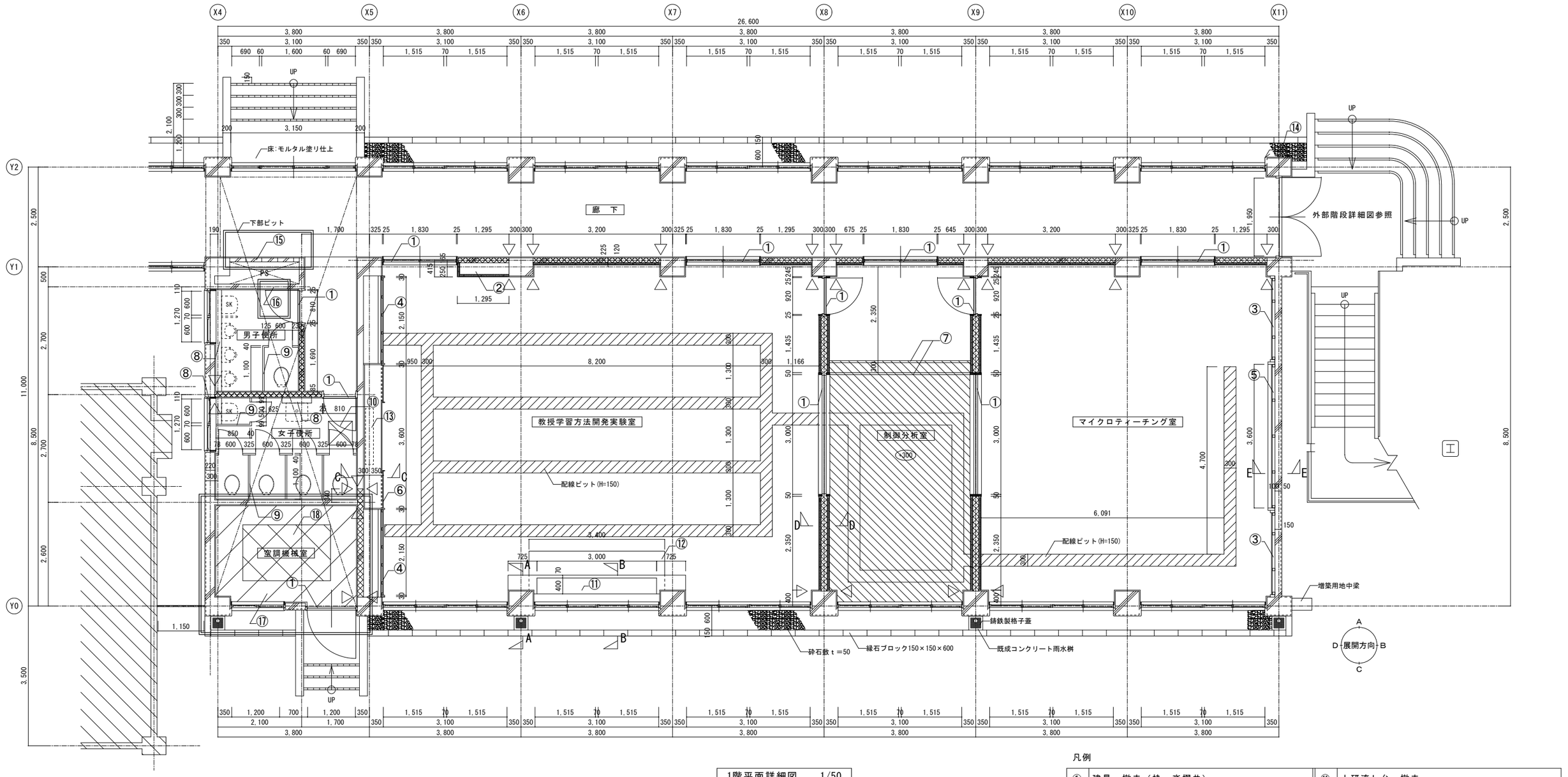
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
断面図・立面図【改修後】

縮尺 A1：1/100

図面区分 建築意匠

図面番号 A-10



1階平面詳細図　1/50

凡例

⑮	コンクリートブロック壁　撤去
⑯	スチール製点検口600角　撤去
⑰	土間モルタル　厚80　撤去
⑱	機械基礎　撤去（ＲＣ　2200*1400*H100）

凡例

①	建具　撤去（枠，沓摺共）	⑪	人研流し台　撤去
②	LGS壁　撤去	⑫	床 人研　撤去
③	掲示板（アルミ製枠）撤去	⑬	スクリーン　撤去
④	掲示板（木製枠）撤去	⑭	モルタル塗　撤去
⑤	上下黒板　撤去（アルミ製枠1800×3600）		RC壁撤去
⑥	引分黒板　撤去		配線ピット撤去し，シンダーコンクリートt150　打設
⑦	SUS製ノンスリップ ビニールタイヤ入　撤去		コンクリートスラブ　撤去
⑧	ライニング　撤去	△	カッター入れを示す
⑨	トイレブーズ　撤去	A A	雑詳細図参照
⑩	床点検口　扉のみ撤去		

※　衛生機器撤去後スラブをコンクリート穴埋め　〈男女便所共通〉

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：　設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

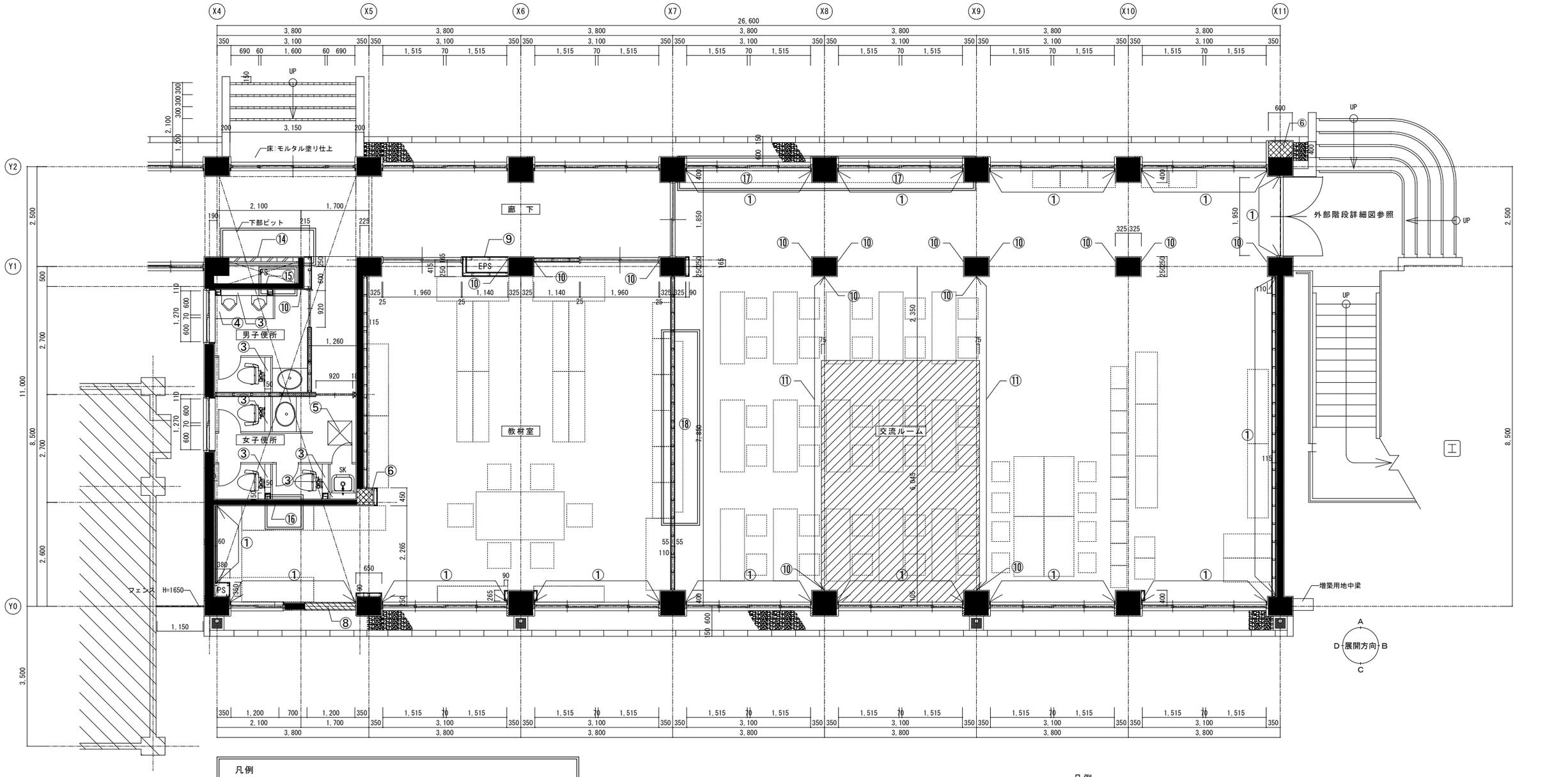
工事名称　東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容　1階　平面詳細図　【既存】

縮尺　A1：1/50　A3：1/100

図面区分　建築意匠

図面番号　A-11



凡例

⑭	ＬＧＳ下地強化石こうボードt21＊2枚貼　竪穴区画仕様 スチール製点検口450角
⑮	点検口600角撤去跡　コンクリートブロック積みモルタル仕上げ
⑯	空調ダクト撤去跡塞ぎ　コンクリートブロック積みモルタル仕上げ 600*500*２ヶ所
⑰	下足入れ
⑱	スライダー黒板（暗線入り　W3600*H1200）
	ＲＣ打込電気盤撤去跡塞ぎ コンクリートブロック積みモルタル仕上げ　厚100 400*600、520*750、240*350、240*550

1階平面詳細図　1/50

凡例

■	RC壁・柱　既存	⑧	コンクリート打設＜D10-@200タテヨコ＞ 柱面、床面は金属系あと施工アンカーD10@200 それ以外は既存鉄筋はつり出しの上、新設鉄筋と溶接
▭	LGS壁　新設		
①	断熱材：硬質ウレタンフォームｔ25　吹付範囲	⑨	壁 開口補強　600×900
②	欠番	⑩	コンクリート壁撤去跡モルタル補修
③	ライニング　新設	⑪	(上部梁下)コンクリート壁撤去跡モルタル補修
④	汚垂石　新設	▨	コンクリートスラブｔ120　新設範囲
⑤	床下点検口（600角）　扉のみ新設	⬚	工事外備品
⑥	RC柱 増し打ち		
⑦	欠番	※	便器，洗面，ＳＫ，流し台，実験台は設備工事（別途）

株式会社 綜企画設計

承認	製図

特記

凡例：　設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

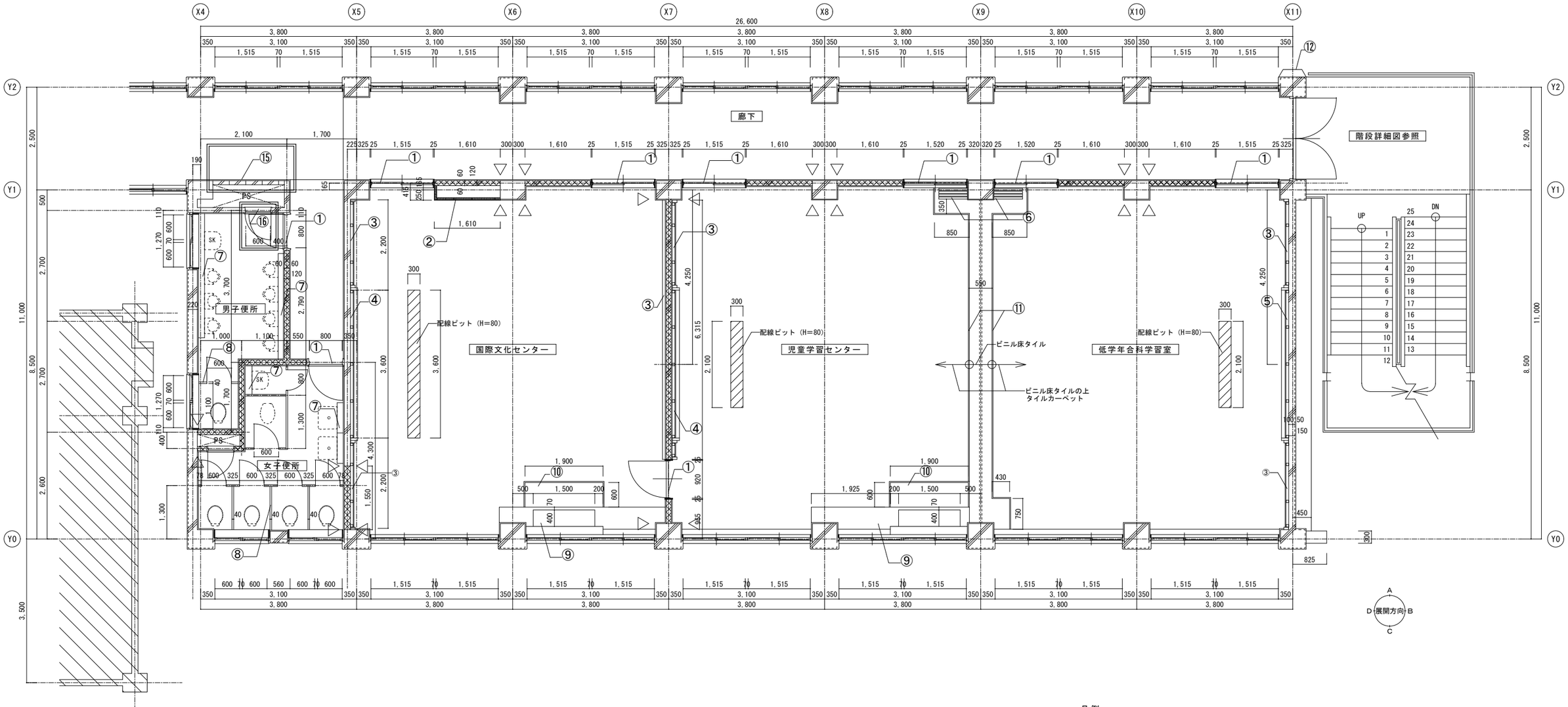
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
１階　平面詳細図　【改修後】

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

図面区分　建築意匠

図面番号　A-12



2階平面詳細図　1/50

凡例

⑮	コンクリートブロック壁　撤去
⑯	スチール製点検口600角　撤去

凡例

①	建具　撤去（枠，沓摺共）	⑨	人研流し台　撤去
②	LGS壁　撤去	⑩	床 人研　撤去
③	掲示板（アルミ製枠）撤去	⑪	アルミ製見切 W20　撤去
④	普通黒板（アルミ枠3600×1200）	⑫	モルタル塗　撤去
⑤	上下黒板　撤去（アルミ製枠1800×3600）	▨	RC壁撤去
⑥	スライディングパネル　撤去	▨	配線ピット撤去し，シンダーコンクリートt80　打設
⑦	ライニング　撤去	△	カッター入れを示す
⑧	トイレブース　撤去		

※　衛生機器撤去後スラブをコンクリート穴埋め　〈男女便所共通〉

株式会社 綜企画設計

承認	製図

特記

凡例：　設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

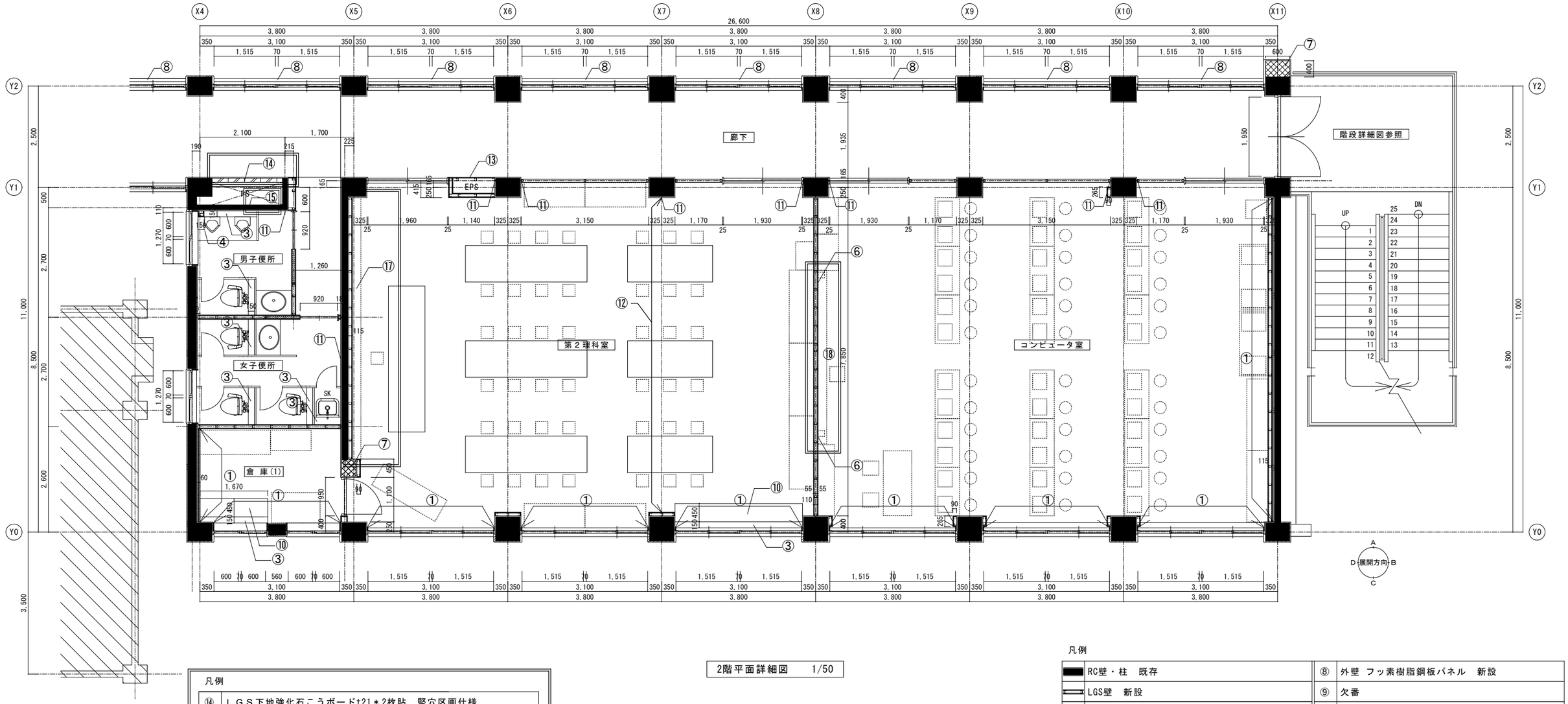
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
2階　平面詳細図　【既存】

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

図面区分　建築意匠

図面番号　A-13



2階平面詳細図　1/50

凡例

⑭	ＬＧＳ下地強化石こうボードt21＊2枚貼　竪穴区画仕様 スチール製点検口450角
⑮	点検口600角撤去跡　コンクリートブロック積みモルタル仕上げ
⑰	スライダー黒板（暗線入り　W4500*H1200）掲示板（W1800*H900）
⑱	ホワイトボード（曲面　W3600*H1200）

凡例

	RC壁・柱　既存	⑧	外壁 フッ素樹脂鋼板パネル　新設
	LGS壁　新設	⑨	欠番
①	断熱材：硬質ウレタンフォーム t 25　吹付範囲	⑩	流し台　（別途）
②	欠番	⑪	コンクリート壁撤去跡モルタル補修
③	ライニング　新設	⑫	(上部梁下)コンクリート壁撤去跡モルタル補修
④	汚垂石　新設	⑬	壁 開口補強　600×900
⑤	欠番		工事外備品
⑥	スピーカー用補強　新設		
⑦	RC柱 増し打ち	※	便器,洗面,ＳＫ,流し台,実験台は設備工事(別途)

株式会社 綜企画設計

承認	製図	特記
		凡例：　設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

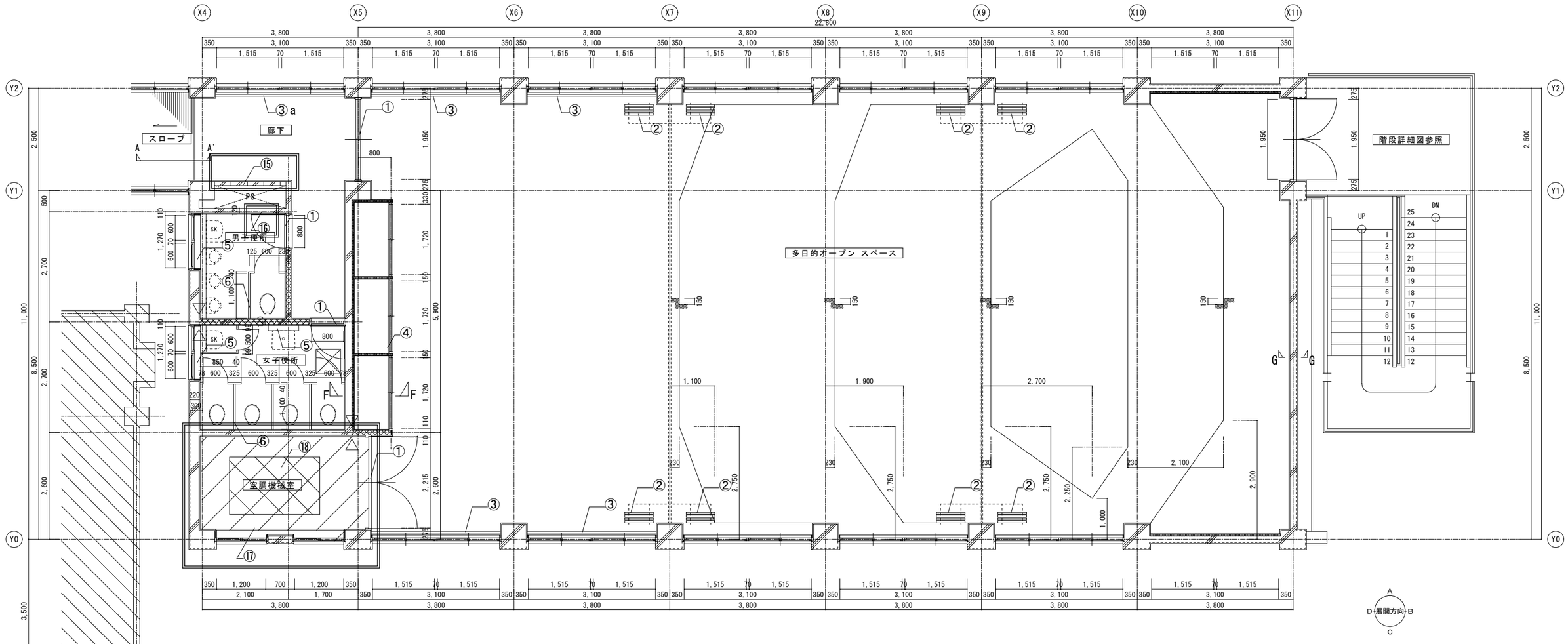
工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
2階　平面詳細図　【改修後】

縮尺
A1：1/50
A3：1/100

図面区分　建築意匠

図面番号　A-14



3階平面詳細図　1/50

凡例

⑮	コンクリートブロック壁　撤去
⑯	スチール製点検口600角　撤去
⑰	土間モルタル　厚80　撤去
⑱	機械基礎　撤去（ＲＣ　2200*1400*H100）

凡例

①	建具　撤去（枠，沓摺共）		
②	スライディングパネル　撤去		
③	手摺SUS製42.7φH＝1200　既存のまま		
④	椅子収納棚　撤去		
⑤	ライニング　撤去		
⑥	トイレブース　撤去		
	RC壁撤去		
△	カッター入れを示す		
A A	雑詳細図参照		

※　衛生機器撤去後スラブをコンクリート穴埋め　〈男女便所共通〉

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

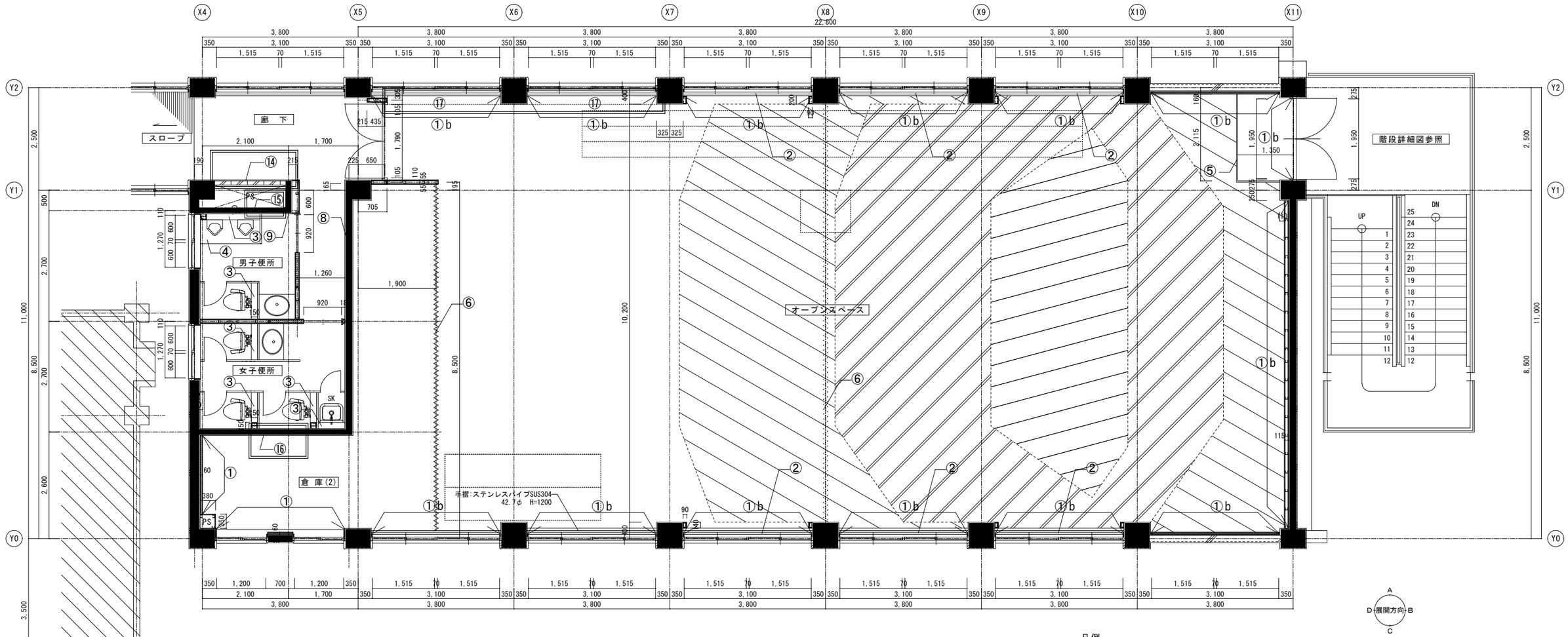
工事名称　東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容　3階　平面詳細図　【既存】

縮尺　A1：1/50　A3：1/100

図面区分　建築意匠

図面番号　A-15



凡例

⑭	ＬＧＳ下地強化石こうボードt21＊2枚貼　竪穴区画仕様 スチール製点検口450角
⑮	点検口600角撤去跡　コンクリートブロック積みモルタル仕上げ
⑯	空調ダクト撤去跡塞ぎ　ＬＧＳ＋両面ボード貼り　114条区画 600*500*２ヶ所
⑰	下足入れ

3階平面詳細図　1/50

凡例

	RC壁・柱　既存	⑧	壁 600×900 穴埋め（四周 金属系ｱﾝｶｰ―D10@200 新設後 新設鉄筋D10-@200を溶接しｺﾝｸﾘｰﾄ打設）
	LGS壁　新設		
①	断熱材：硬質ウレタンフォームｔ25　吹付範囲	⑨	コンクリート壁撤去跡モルタル補修
①b	梁のみ断熱材		鋼製床下地　Ｈ450　新設範囲
②	ステンレスパイプ42.7φ　新設		鋼製床下地　Ｈ300　新設範囲
③	ライニング　新設		鋼製床下地　Ｈ150　新設範囲
④	汚垂石　新設		工事外備品
⑤	ステンレス製上り框　新設	※	便器,洗面,ＳＫ,流し台,実験台は設備工事(別途)
⑥	カーテンレール（別途）		
⑦	欠番		

株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

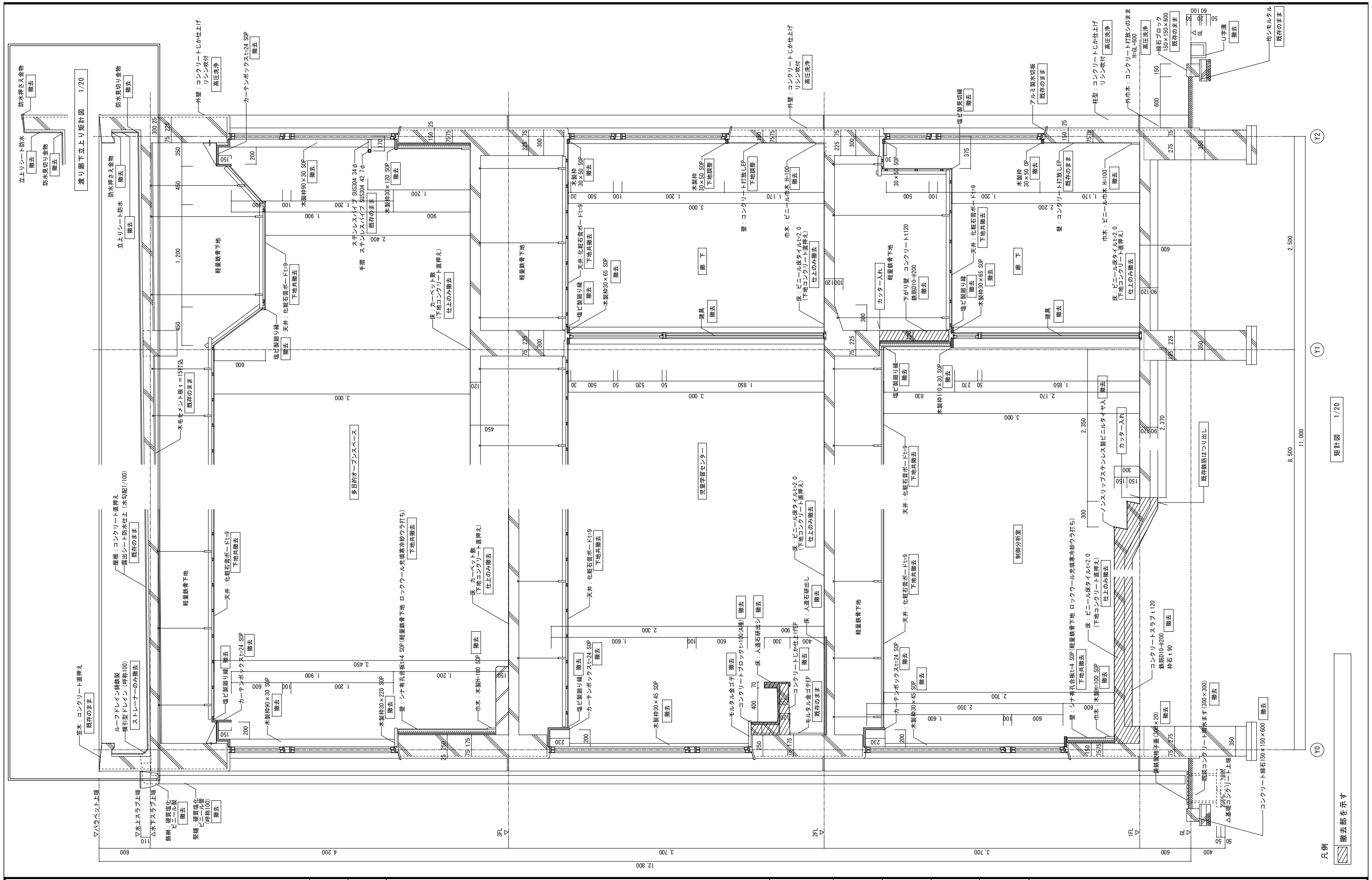
工事名称：東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容：3階　平面詳細図　【改修後】

縮尺：A1：1/50　A3：1/100

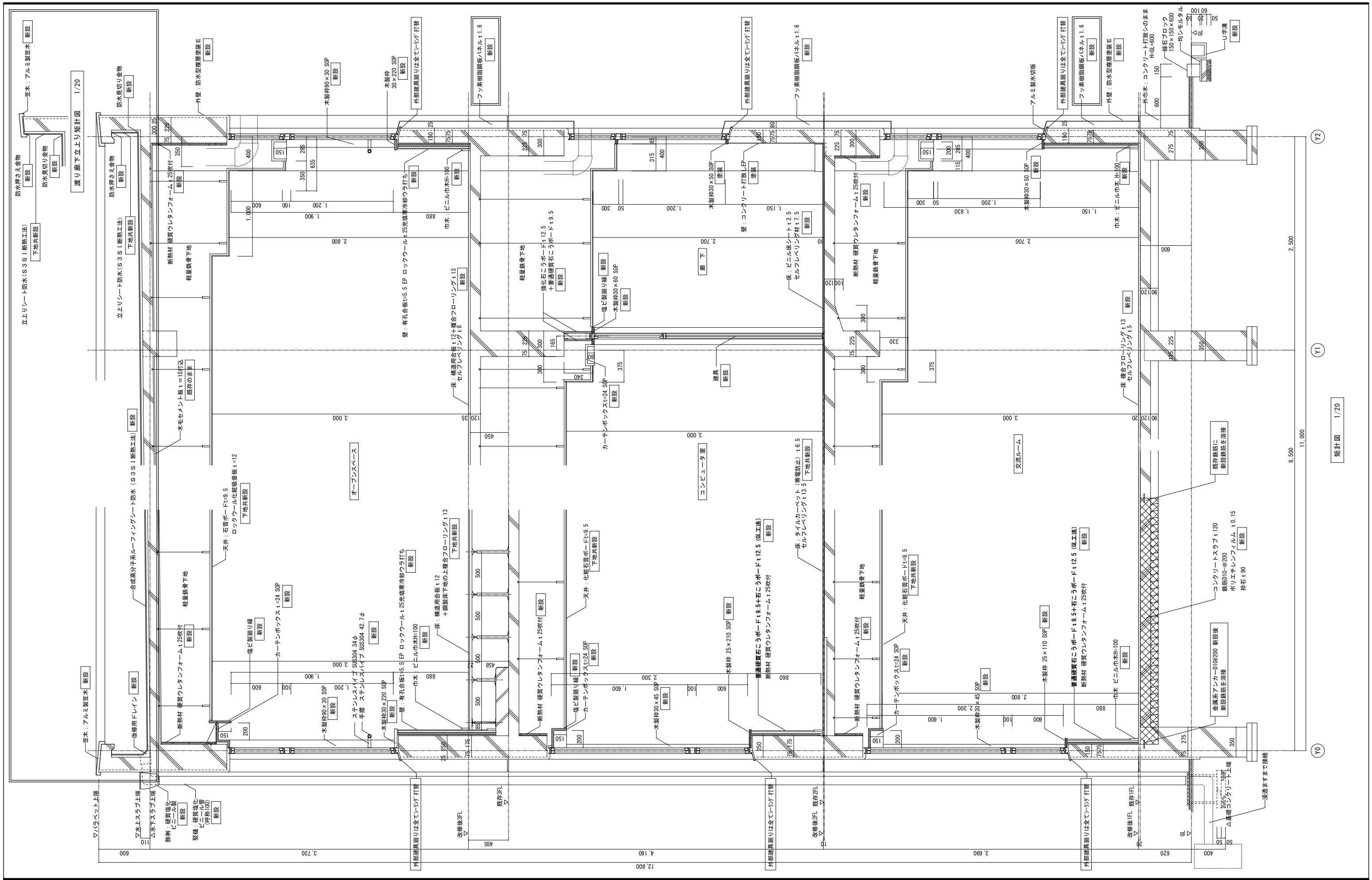
図面区分：建築意匠

図面番号：A-16



株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任	工事名称 東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）
										図面内容 矩計図 【既存】

縮尺	図面区分	図面番号
A1：1/20 A3：1/40	建築意匠	A-18



株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任	工事名称 東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）
										図面内容 矩計図 【改修後】

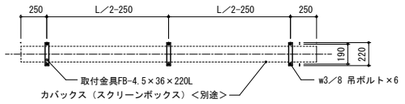
縮尺 A1：1/20 A3：1/40

図面区分 建築意匠

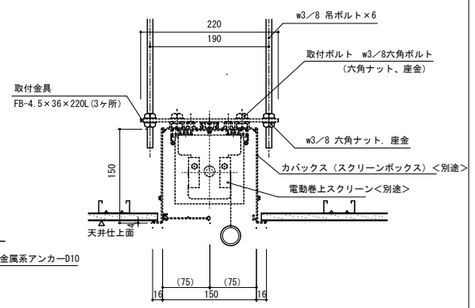
図面番号 A-19

天吊 スクリーン、プロジェクター 吊金物 詳細図

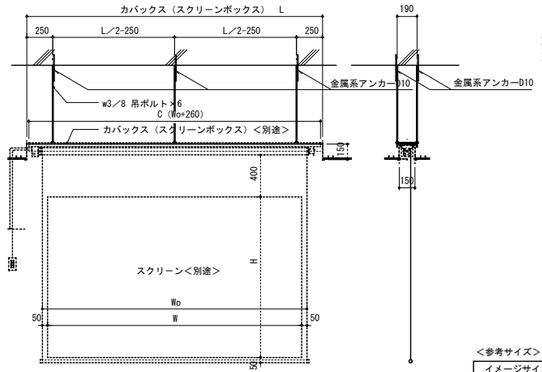
スクリーンボックス吊金物



ボックス取付位置平面図 s=1／30



断面詳細図 s=1／5

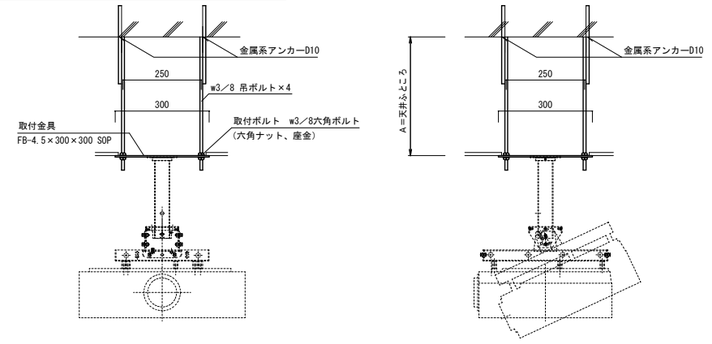


巻上スクリーン姿図 s=1／30

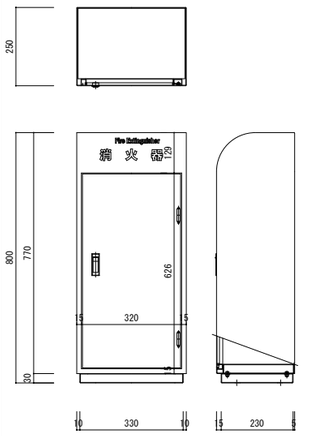
＜参考サイズ＞

イメージサイズ W × H	生地幅 Wo	天板全長 C	φR	重量 (kg)	カバックス寸法（内寸） X × Y × L
2438×1829	2538	2798	68	19.0	150×150×2838

プロジェクター、テレビ台用 吊金物 1/10

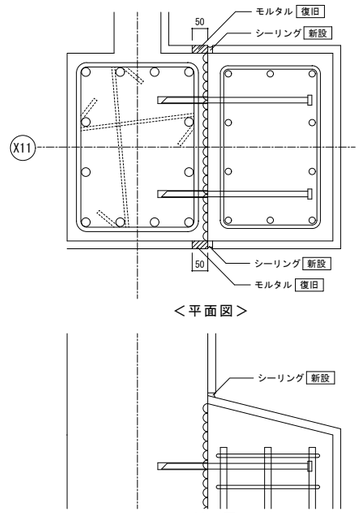


消火器ボックス 1/10

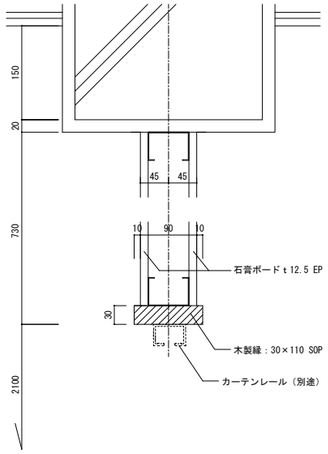


＜㈱ユニオン UFB-3F-811 同等品＞

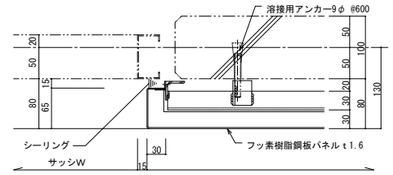
補強外部柱廻り詳細図 1/10



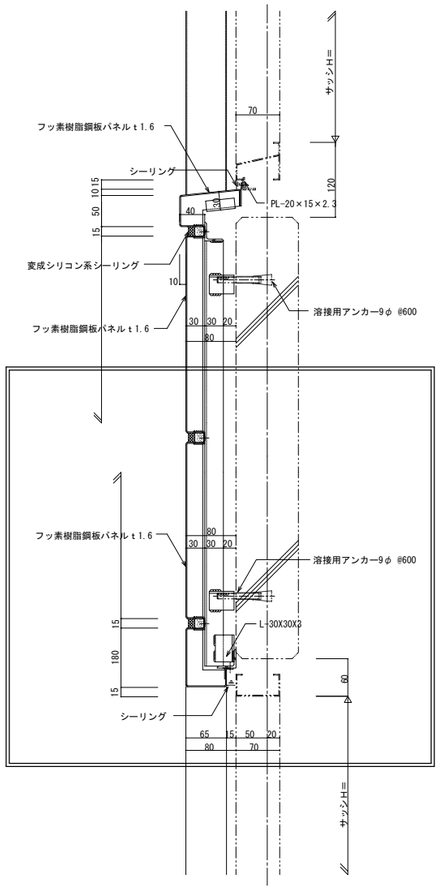
オーブンスペース カーテンレール廻り詳細図 1/30



フッ素樹脂鋼板パネル詳細図 1/5

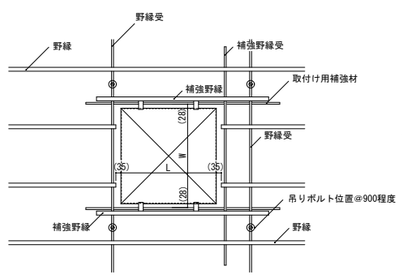


平面図

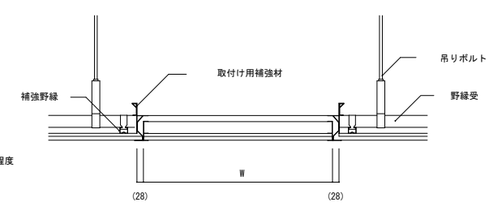


断面図

天井点検口 開口補強 1/10

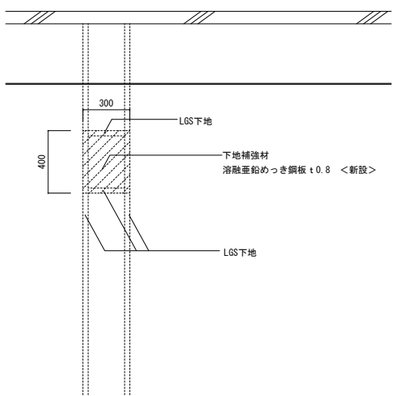


平面

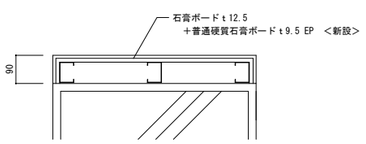


断面

スピーカー設置箇所の壁補強 1/30



コンセント、スイッチ等ふかし壁詳細図 1/30



株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例： 設計変更分	東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

工事名称：東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容：雑詳細図（2）

縮尺：A1：図示

図面区分：建築意匠

図面番号：A-41

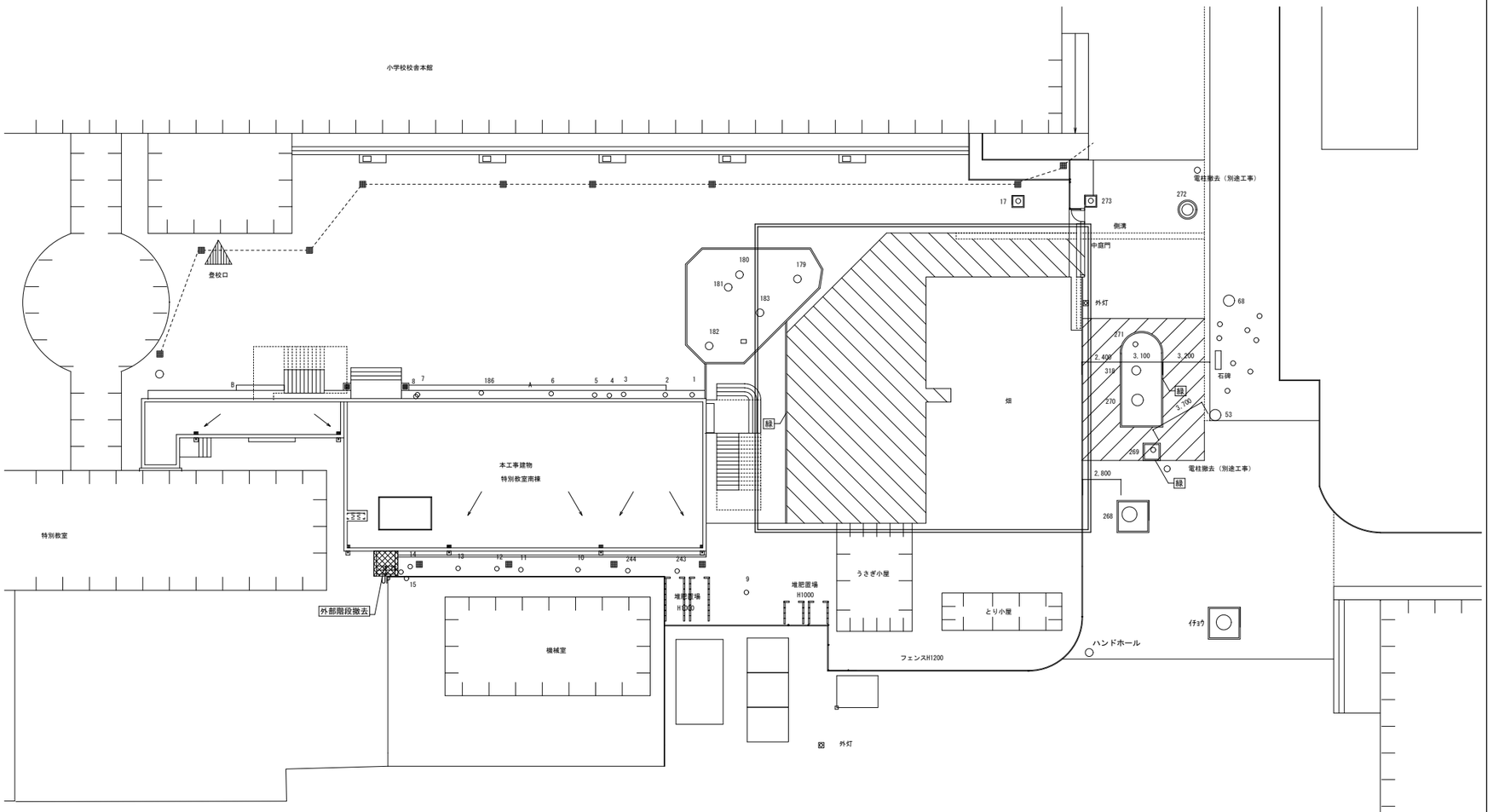
樹木リスト

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
A	つつじ		1	20本移植 10本枯れ撤去処分
B	つつじ		1	30本移植
1			2.4	
2	もみじ		4	
3	もみじ		4	
4	もみじ		4	
5	もみじ		4	伐根処分
6	もみじ		2	
186	えのき	0.26 0.18	9	
7	もみじ		5	
8	びわ		5	

※A・Bつつじ移植先は小学校運動場北の既存植込　の空き部分へ

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
9	ねずみもち		10	
243	しゅろ		10	
244			10	
10			10	
11			4	伐採処分
12	しゅろ		10	
13	しゅろ		10	
14	とうねずみもち		10	
15	ねずみもち		10	
16	えのき		10	
17			10	枝払い

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
179	サンゴジュ	0.56 0.43 0.56	6	
180	エノキ	0.72 0.35	7.5	枝払い
181	オニグルミ	0.97	10	枝払い
182	イイギリ	0.93	11	枝払い
183	オニグルミ	0.67	10	
53	シラカシ	1.38	14	
68	イチョウ	2.14	16	
268	イチョウ	1.99	20	
269	ネズミモチ	0.3 0.4 0.4 0.6	7	伐根処分
270	ソメイヨシノ	1.28	6.5	伐根処分
271	ツバキ	0.37 0.29	4	伐根処分
272	イチョウ	1.38	15	
273	イロハモミジ	0.56	5	
318	エノキ	0.22	5	伐根処分

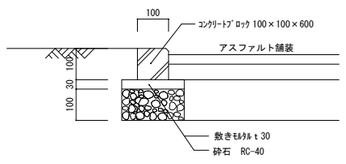


符号	名称	摘要	数量	備考
緑	コンクリート縁石		３９．５m	撤去
	アスファルト舗装		75㎡	撤去
	ゴム舗装		２２５㎡	撤去

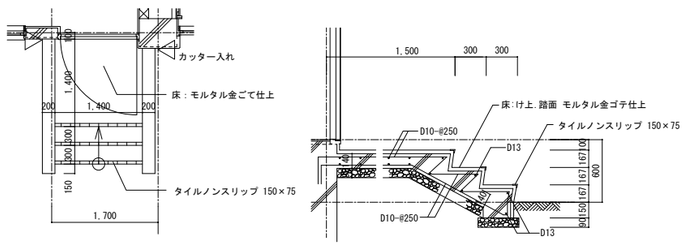
アスファルト舗装　1/10

ゴム舗装　1/10

コンクリート縁石　1/10



外部階段　1/30



株式会社 綜企画設計	承認	製図	特記	凡例：　設計変更分

東京学芸大学 財務施設部 施設課	課長	副課長	係長	主任

工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
外構図【既存】

縮尺
A1：1/100
A3：1/200

図面区分　建築意匠

図面番号　A-43

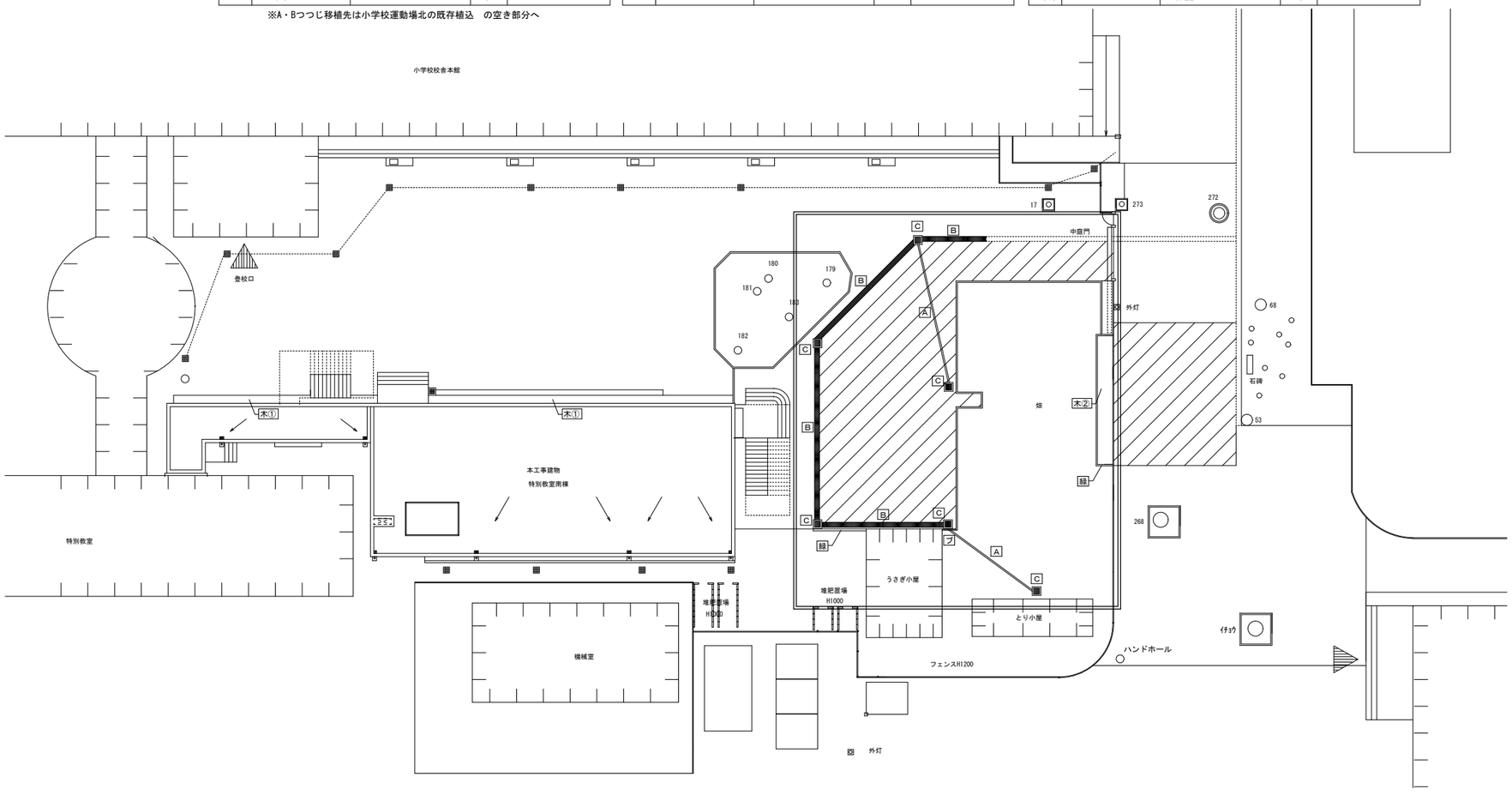
樹木リスト

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
A	つつじ		1	20本移植 10本枯れ撤去処分
B	つつじ		1	30本移植
1			2.4	
2	もみじ		4	
3	もみじ		4	
4	もみじ		4	
5	もみじ		4	伐根処分
6	もみじ		2	
186	えのき	0.26 0.18	9	
7	もみじ		5	
8	びわ		5	

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
9	ねずみもち		10	
243	しゅろ		10	
244			10	
10			10	
11			4	伐採処分
12	しゅろ		10	
13	しゅろ		10	
14	とうねずみもち		10	
15	ねずみもち		10	
16	えのき		10	
17			10	枝払い

No.	樹木名	目通り	樹高	工事内容
179	サンゴジュ	0.56 0.43 0.56	6	
180	エノキ	0.72 0.35	7.5	枝払い
181	オニグルミ	0.97	10	枝払い
182	イイギリ	0.93	11	枝払い
183	オニグルミ	0.67	10	
53	シラカシ	1.38	14	
68	イチョウ	2.14	16	
268	イチョウ	1.99	20	
269	ネズミモチ	0.3 0.4 0.4 0.6	7	伐根処分
270	ソメイヨシノ	1.28	6.5	伐根処分
271	ツバキ	0.37 0.29	4	伐根処分
272	イチョウ	1.38	15	
273	イロハモミジ	0.56	5	
318	エノキ	0.22	5	伐根処分

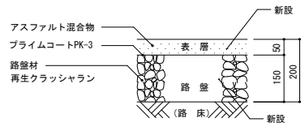
※A・Bつつじ移植先は小学校運動場北の既存植込　の空き部分へ



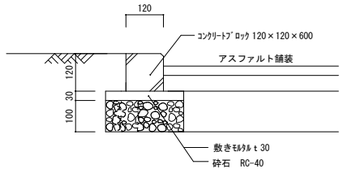
符号	名称	摘要	数量	備考
緑	コンクリート縁石		１５ｍ	
木①	樹木（アオキ）	高さ 1.0m 枝張り 0.6m 程度	37本	
木②	樹木（サクラ）	高さ 2.0m 枝張り 1.0m 程度	3本	
	アスファルト舗装		３１２㎡	
A	排水管	塩ビ製φ１００	１９ｍ	
B	スチール製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ＋Ｕ字型溝		３８ｍ	
C	スチール製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ＋雨水桝		６ヶ所	
ブ	コンクリートブロック積み	厚１００　２段　Ｗ８００	１ヶ所	

※　既存境界線ブロック・アスファルトを
撤去する際は樹木根を傷めないこと。

アスファルト舗装（路盤共）　1/10



コンクリート縁石　1/10



承認	製図	特記

株式会社 綜企画設計

凡例：□ 設計変更分

東京学芸大学
財務施設部 施設課

課長	副課長	係長	主任

工事名称
東京学芸大学附属大泉小学校特別教室南棟改修工事（設計変更分）

図面内容
外構図【改修後】

縮尺
A1：1/100
A3：1/200

図面区分　建築意匠

図面番号　A-44